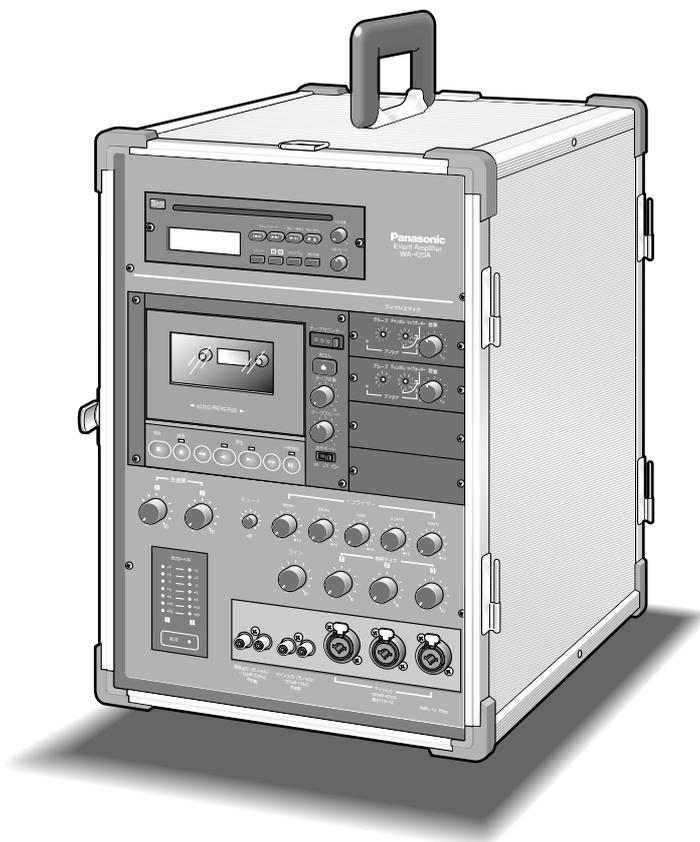


Panasonic

イベントアンプ 取扱説明書

品番 WA-420A



上手に使って上手に節電

保証書別添付

- このたびは、イベントアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（4～6ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
 - 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機は、CD、カセット、ワイヤレスチューナーユニット、有線マイク、パワーアンプをトランクに一体化したイベントアンプです。

- ワイヤレスチューナーユニットは、最大4台まで取り付けることができます。(工場出荷時は2台取付済み)
別売の専用ワイヤレスチューナーユニット (WX-D4002A) を2台増設すると、ワイヤレスマイクを4本同時に使用できます。
- ダイレクト受信方式採用により、アンテナ工事をせずに別売のホイップアンテナ (WX-4980) を直接接続して、簡易ワイヤレスシステムを構成することができます。
- 別売の設置型アンテナ (WX-A8105) を2本接続できます。
- ダイバシティ方式、PLL方式採用 (ワイヤレス受信部) により、任意のグループ・チャンネルでデッドポイントの少ない確実な受信ができます。
- ローインピーダンス/ハイインピーダンス対応の、130 W (65 W×2) パワーアンプを内蔵しています。
- 有線マイク3系統とワイヤレス4系統は、音声入力による優先機能を内蔵しています。
また、優先時のミュートレベルが調整できます。
- CDプレーヤー、カセットデッキには、速度調節機能を備えています。
- カセットデッキは、フルロジックオートリバース方式を採用しています。
- 拡声時の環境に合わせて音質を設定できる、5ポイントグラフィックイコライザーを搭載しています。

付属品をご確認ください

取扱説明書 (本書)	1	電源コード (3 m)	1
保証書	1	スピーカーコネクタ	2

本書について

本書では、以下の用語および記号を用いて説明しています。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。

もくじ

はじめに

安全上のご注意	4
取り扱いについて	7
各部のなまえ（前面パネル部）	9
優先放送機能について	10
音場補正イコライザーについて	10
リミッタ機能について	11
各部のなまえ（後面パネル部）	12

操作

カセットデッキ部の説明	13
各部のなまえ	13
録音レベルについて	13
再生のしかた	14
録音のしかた	15
早巻きのしかた	16
一曲頭出し（自動選曲）のしかた	16
一曲頭出し録音のしかた	17
走行モードについて	17
カセットテープについて	18

CDプレーヤー部の説明

各部のなまえ	20
再生のしかた	21
CDを取り出すには	22
演奏を一時停止（ポーズ）するには	22
曲を選ぶには	22
早送り／早戻しするには	23
プログラム演奏をするには	24
1曲または全曲を繰り返し聴くには（リピート演奏）	25
指定した部分を繰り返し聴くには（A-Bリピート演奏）	25
演奏スピードを調節するには（CDスピード調節）	26
Err（エラー）表示の状態を解除できない場合	26

コンパクトディスクの取り扱いについて

ワイヤレスチューナーユニット部の説明

各部のなまえ	29
受信グループとチャンネルの設定について	30
マイクオーダーについて	31

設置

ワイヤレスチューナーユニットの取付	32
アンテナについて	34
スピーカーの接続のしかた	37
コネクターについて	39
接続例	40

その他

故障かな!?	41
仕様	45
保証とアフターサービス	47

はじめに

操作

設置

その他

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する  工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。 ●必ず販売店にご依頼ください。	異物を入れない  水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。 禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	分解しない、改造しない  火災や感電の原因になります。 分解禁止 ●修理や点検は、販売店にご連絡ください。
機器の上に水などの入った容器を置かない  水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。 水ぬれ禁止 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	異常があるときは、すぐ使用をやめる  煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。 ●ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。	不安定な場所に置かない  落下によるけがの原因になります。 禁止

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショーク・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源プラグのほこりなどは定期的にとる



プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使用 方や、交流100 V以外での使用は しない



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグ の抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

屋外で使用中に雷が鳴り 出したら、体から離す



落雷の原因になります。

- ただちに使用をやめ、体からマイクを遠ざけてください。

使用中は、スピーカー端子 に触れない



感電注意

定格出力時には100 Vの電圧がかかり、感電の原因になります。

接続する機器の消費電力 合計は100 W以内にする



火災の原因になります。

付属または指定の接続 コードを使用する



火災・感電の原因になります。

使用中にblankパネル をはずさない



禁止

電源が入った状態で行うと、感電の原因になります。

- 電源プラグを抜いてから行ってください。

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電、故障の原因になります。

踏み台や腰掛けにしない



禁止

けがの原因になります。

挿入口に手・指や異物を入れない



禁止

ディスク挿入口に手・指や異物を入れると、けがや発煙・発火の原因になります。

使用中や使用後すぐに放熱器に触らない



高温注意

やけどの原因になります。

電源を入れる前に、各音量を最小にする



突然大きな音を出すと、聴力障害、けがや事故の原因になります。

配線は正しく行う



ショートや誤配線により、火災の原因になります。

取り扱いについて

⚠ 警告 ⚠ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

設置上のお願い

使用電源は

AC100 V、50 Hz/60 Hzです。

電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。

本機は防水型ではありません

雨滴などが付着しないようご注意ください。万一ぬれた場合は、ただちに電源プラグを抜いて乾いた布でよく拭いてください。

以下の場所には設置しないでください

- ①夏季の閉めきった自動車内
- ②直射日光の当たる場所
- ③暖房器具の近く

水平位置（縦置き）でご使用ください

横置きや傾けて設置しないでください。

また、振動の多いところで使用すると、音飛びを起こすことがありますので、避けてください。

ワイヤレスマイクについて

デッドポイントにご注意ください

金属物の近くや、鉄筋コンクリートの狭い部屋でワイヤレスマイクを移動しながら使用すると、電波の反射や干渉により急に音が出なくなることがあります。これをデッドポイントと呼びます。

デッドポイントを解消するには、本機の位置を金属製の机やロッカーなどから1 m以上離すか、設置場所を1 m~2 m移動してください。

ダイバシティ効果について

十分なダイバシティ効果を得るために、ワイヤレスマイクは、本機から30 m以内で使用することをおすすめします。

使用可能マイクについて

B型ラムサは、トーン周波数が異なるため使用できません。

近くの妨害電波にご注意ください。

100 m以内に同じ周波数の妨害電波、高周波ミシン、高周波乾燥機など高周波を使う機械や各種直流モーター、自動車など電気火花を発生する機械がないか確かめてください。

やむをえず雑音源の近くで使用する場合は、ワイヤレスマイクとワイヤレスアンプの距離を2 m~10 m以内にしてください。

送信所の送信アンテナの直下では到達距離が短くなることがあります。

使用上のお願い

他のワイヤレス機器と組み合わせてご使用になるとき

- マイクロホンどうしは50 cm以上離してください。
- 本機とワイヤレスマイクの距離は2 m～10 m以内になしてください。なお、2 m以内に近づきますと飛び込みや混信などが発生することがあります。

CD部について

次のような場合、本機CD部のレンズやディスクに露（水滴）が付いて正しく再生できないことがあります。このような場合は電源を入れて1～2時間待ってからお使いください。

- 湿気の多いところに置いてある場合
- 冷えたところから急に暖かいところに移動した場合

持ち運びにご注意ください

運搬中、強度の振動を与えたり、投げ出したり、乱暴な取り扱いをしないでください。回転機構に異常が生じたり、破損することがあります。

摩擦性の部品について

カセット部のヘッド、ピンチローラー、ベルト、モーター、CD部の光ピックアップは摩擦性の部品となりますので、定期的に交換してください。なお、部品代ならびに交換費用は保証期間中であっても有償とさせていただきます。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

各部のなまえ (前面パネル部)

スピーカー出力1音量調節つまみ

スピーカー出力1に接続されたスピーカーの出力を調節します。

スピーカー出力2音量調節つまみ

スピーカー出力2に接続されたスピーカーの出力を調節します。



- マイクへ過大入力が入ったときや、各入力・内蔵デッキの音量調節つまみを上げすぎると、スピーカー出力(1/2)とライン出力から歪んだ音が出力されます。そのような場合はマイクを口元から離すか、各入力・内蔵デッキの音量調節つまみを各々歪まないように調節してください。スピーカー出力音量調節つまみを絞っても歪んだ音は変わりません。

スピーカー出力1/2表示灯

スピーカー出力1/2の音量をそれぞれ表示します。赤色が点灯しないように各音量を調節してください。

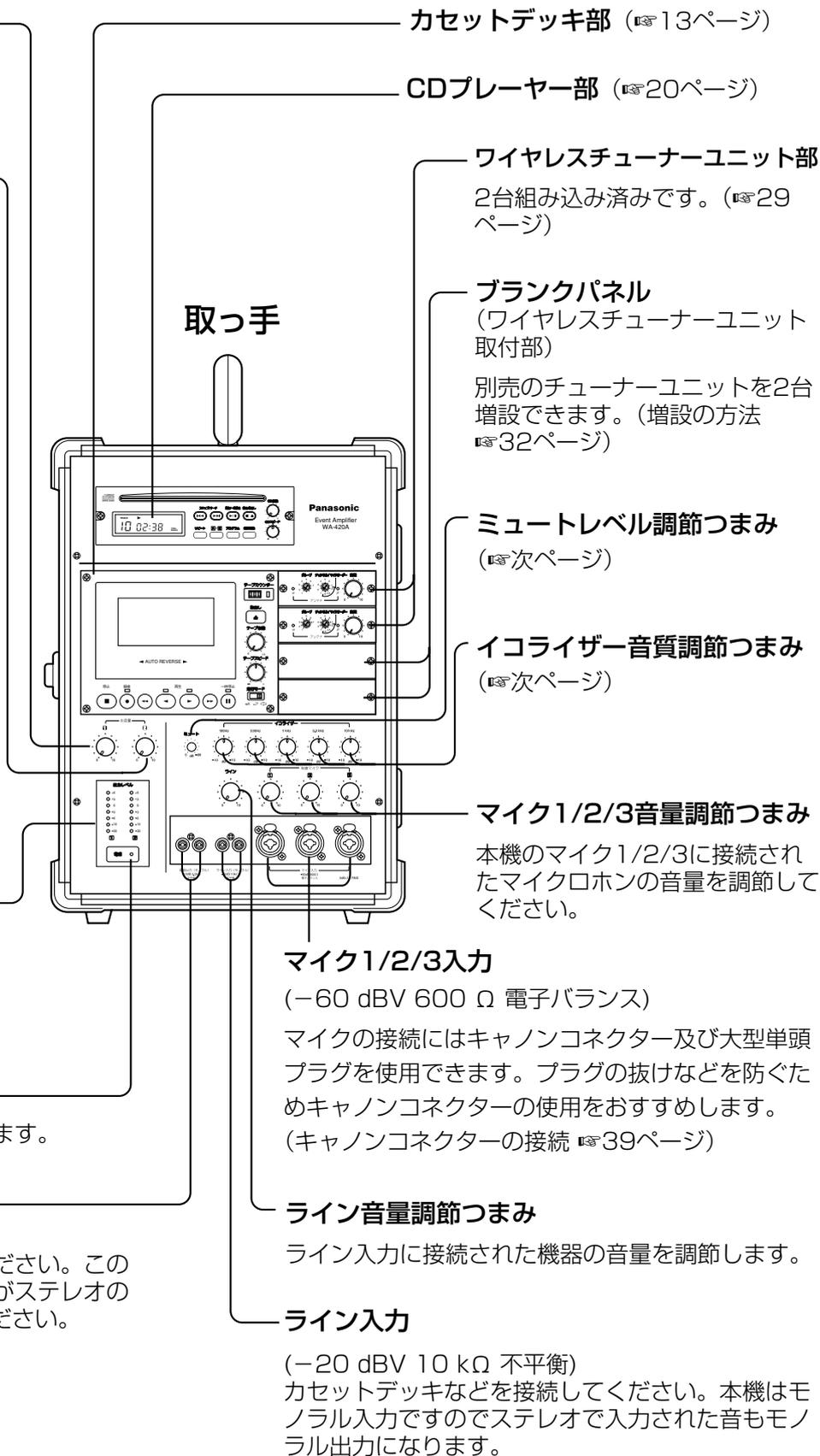
電源表示灯

本機の電源が入ると緑色に点灯します。

録音出力

(-10 dBV 2.2 kΩ 不平衡)
カセットデッキなどを接続してください。この出力はモノラルです。接続デッキがステレオの場合はL/Rに関係なく接続してください。

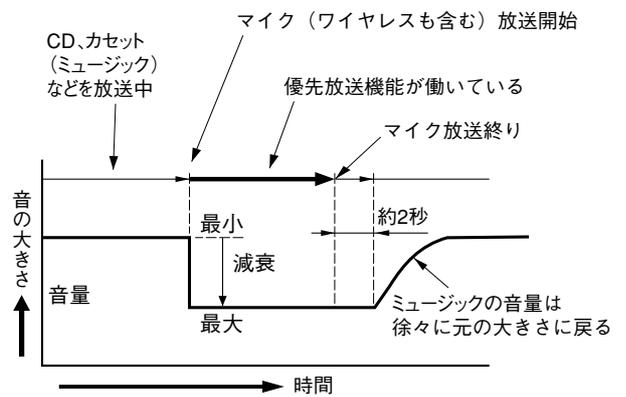
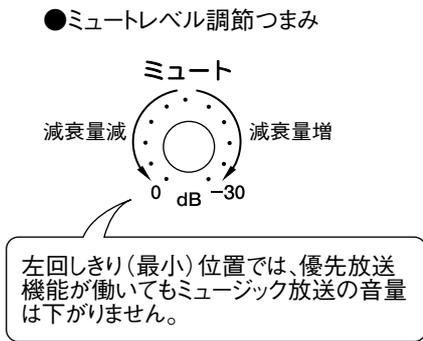
- 使用しない機器の音量調節つまみは最小にしてください。ノイズが出るなどの不具合の原因となります。



各部のなまえ (前面パネル部) (つづき)

優先放送機能について

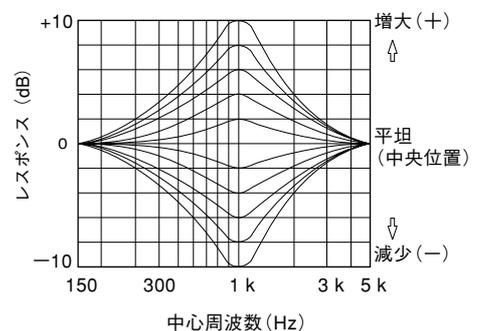
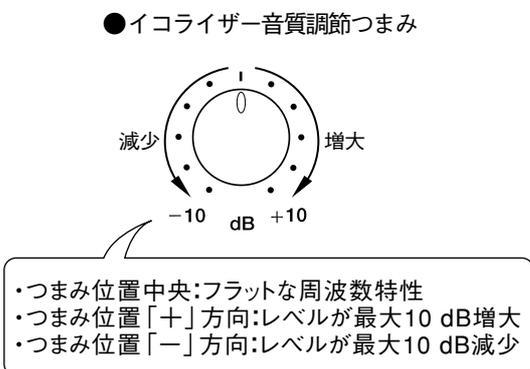
- 本機は優先放送機能付きです。マイク放送（ワイヤレスマイク放送も含む）時には、内蔵のカセットデッキやCDプレーヤー、ライン入力のミュージック放送の音量を自動的に減衰します。
- 減衰量はミュートレベル調節つまみで調節することができます。右へ回すと、減衰量が大きくなり、左へ回すと小さくなります。
- マイク放送が終わるとミュージック放送の音量が自動的に元の音量に戻ります。



音場補正イコライザーについて

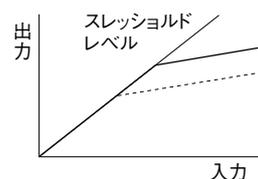
- 5ポイントの各周波数（100 Hz／330 Hz／1 kHz／3.3 kHz／10 kHz）でのレベルを+10 dB～-10 dBまで連続的に変化させるための調節つまみです。各音場に合わせ、5ポイントの周波数特性を、必要に応じて補正することにより、マイク放送時のハウリング（キーンという音が出る）を抑えたり、反響の多い場所で明瞭度を上げるのに効果があります。

周波数特性のレベル調節とめやす



リミッタ機能について

本機には、マイク回路（マイク入力1/2/3、ワイヤレスマイク4系統※）への過大入力時のひずみやハウリングなどを軽減するリミッタ機能が組み込まれています。（※別売ワイヤレスチューナーユニット組み込み時）



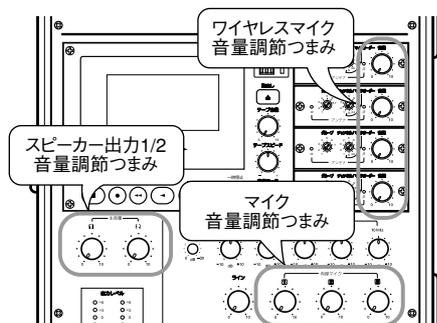
- 本機のリミッタ機能を有効にご使用いただくため、次の項目をお読みになり適切な設定のうえご使用ください。

リミッタ効果について

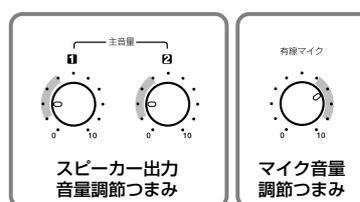
リミッタ機能はマイク入力系全部（有線マイク入力1/2/3、ワイヤレスマイク4系統※）に同様に動作し、マイク回路への過大入力時のひずみやハウリングなどを軽減する効果があります。（※別売ワイヤレスチューナーユニット2台、増設時）

リミッタ機能を効果的にご使用いただくために

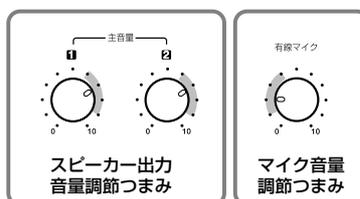
本機のマイク入力にはマイク音量調節つまみとスピーカー出力1/2音量調節つまみの両方で出力レベル（スピーカーの音量）を調節できるようになっています。下図のような各つまみの位置に設定することで、リミッタが動作し始めるマイク入力のレベルを調節することができます。使用状況に合わせて各音量調節つまみを設定してください。



●比較的小音量でリミッタが働く設定



●比較的大音量でリミッタが働く設定



各部のなまえ (後面パネル部)

アンテナ感度切換スイッチ

アンテナの感度を使用状況に合わせて0 dB/−10 dBを選択してください。出荷時のスイッチ設定は“0 dB”になっていますが、1) ~ 4)の場合は“−10 dB”に切り換えて感度を落としますと混信を防ぐことができます。

- 1)他のグループのマイクを近接場所(30 m以上離れた場所)で同時に使用する場合
- 2)同一グループのマイクを近接場所(100 m以上離れた場所)で同時に使用する場合
- 3)受信アンテナの設置場所によってマイクが2 m以内の距離に接近する場合
- 4)その他電波障害がある場合



- アンテナ感度切換スイッチを“−10 dB”に切り換えた場合、ワイヤレスマイクの到達距離は1/2~1/3に減少します。

放熱器



使用中や使用後すぐに放熱器に触らない

やけどの原因になります。

電源スイッチ

このスイッチを押して電源を入/切します。

AC電源入力端子

付属の電源コードを使用してACコンセントに接続してください。



付属または指定の接続コードを使用する

火災・感電の原因になります。

サービスコンセント

音響機器以外は接続しないでください。



接続する機器の消費電力合計は100 W以内にする

火災の原因になります。

ワイヤレスアンテナBNCコネクター(α/β)

別売のワイヤレスアンテナWX-4980またはWX-A8105を接続します。接続には必ずBNCコネクターをご使用ください。(☞35ページ)



- BNCコネクターからはファンタム電源が出ています。ショートさせないようにご注意ください。また指定のワイヤレスアンテナ以外は接続しないでください。

スピーカー出力1/2コネクター
4Pキャノンコネクターです。(☞39ページ)

SIGNAL GND端子

本機のSIGNAL GND端子とシステム中の他の機器のSIGNAL GND端子を接続してアースをとってください。アースをとらないと発振したり、ノイズがでるなどの不具合の原因となる場合があります。

ライン出力ジャック

(0 dB 10 kΩ 不平衡)

別売の弊社製アンプ内蔵モニタースピーカーを接続してください。

カセットデッキ部の説明

各部のなまえ

録音ボタン

このボタンを押しますと録音待機状態となり、録音ボタン上部の録音表示灯が赤に点灯します。録音したい方向の再生ボタンを押した時点で録音が始まります。(録音のしかた 15ページ)

停止ボタン

録音、再生、早巻き中のテープを止めるときに押します。

早巻きボタン

このボタンを押しますと矢印の方向にテープが早巻きされます。

または、再生中にこのボタンを押すと頭出しができます。(一曲頭出しのしかた 16ページ)

再生ボタン

このボタンを押しますと、矢印の方向に再生を開始し、再生ボタン上部の走行表示灯が緑色に点灯します。

一時停止ボタン(ポーズボタン)

このボタンを押しますと録音、再生中でもその間テープを止めることができ、一時停止ボタン上部の一時停止表示灯が橙色に点灯します。このボタンを再び押すと録音、再生が再開されます。

テープカウンター

録音時このカウンターの数字をメモしておくで録音開始時や希望位置をさがしだすのに便利です。

リセットボタン

このボタンを押すとテープカウンターの数字が“000”に戻ります。

取出しボタン

このボタンを押すとカセットホルダーが開きテープの挿入、取り出しができます。

※停止ボタンを押して、テープの動作を止めてから押してください。

テープ音量調節つまみ

カセットデッキの音量を調節してください。

テープスピード調節つまみ

カセットテープの再生速度を調節してください。(可変範囲 ±18%) 速度調節は再生時のみ可能です。録音時の速度調節はおこなえません。

テープ走行モード選択スイッチ

テープの走行モードを選択するスイッチです(⇒ ⇨ ⇩) の3つのモードから1つ選択します。(走行モードについて 17ページ)

-  • テープ走行中に電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりした場合、カセットテープが取り出せなくなることがあります。その場合は、再度電源スイッチを入れ直してからカセットテープを取り出してください。

録音レベルについて

録音レベルの調節は録音する入力または機器側の各々の音量調節つまみで設定します。

ある程度の音量で放送しているときに放送内容を録音する場合は問題ありませんが、音量を小さくして録音しますと録音レベルが不足し、再生音量が小さくなる場合があります。

特に本機を録音のみの目的で使用するときは、スピーカー出力1/2音量調節つまみを最小にすることをおすすめします。

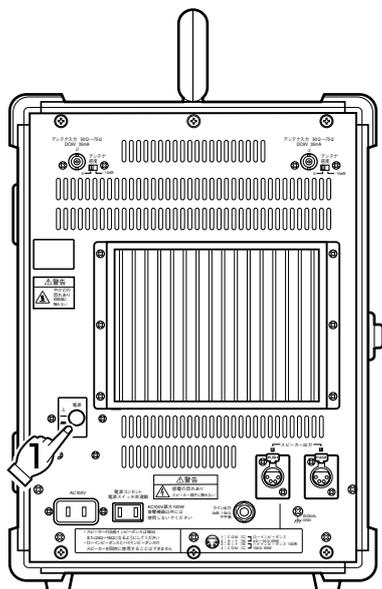
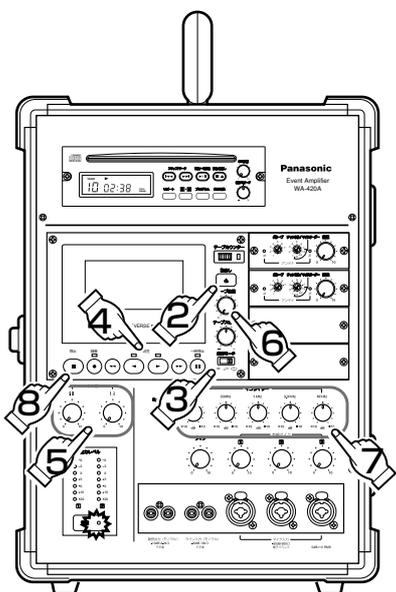
再生のしかた

⚠ 注意

電源を入れる前に、各音量を最小にする

突然大きな音を出すと、聴力障害、けがや事故の原因になります。

操作



1



電源を入れる

電源スイッチを押して電源を「入」にし、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2



カセットテープを挿入する

取出しボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを挿入します。

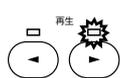
3



走行モードを選択する

テープ走行モード選択スイッチで走行モードを選択してください。
(走行モードについて ▶ 17ページ)

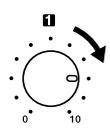
4



再生ボタンを押す

正方向に再生する場合は▶ボタンを押します。逆方向に再生する場合は◀ボタンを押します。テープが再生を開始し、走行表示灯が点灯します。

5



スピーカー（1/2）音量を調節する

スピーカー出力1/2音量調節つまみを目盛り位置「8」をめやすに調節してください。

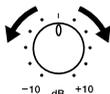
6



音量を調節する

音量をテープ音量調節つまみで調節してください。

7



音質を調節する

音質を各イコライザー音質調節つまみで調節してください。

8



再生を終了する

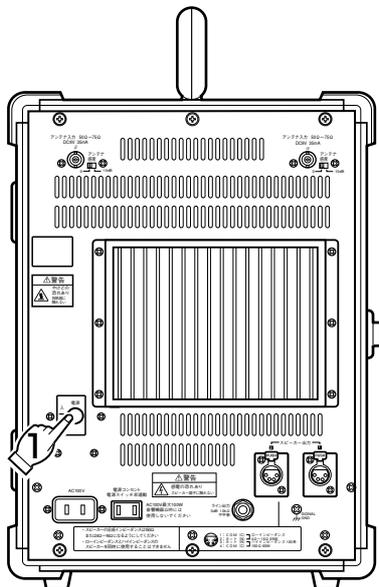
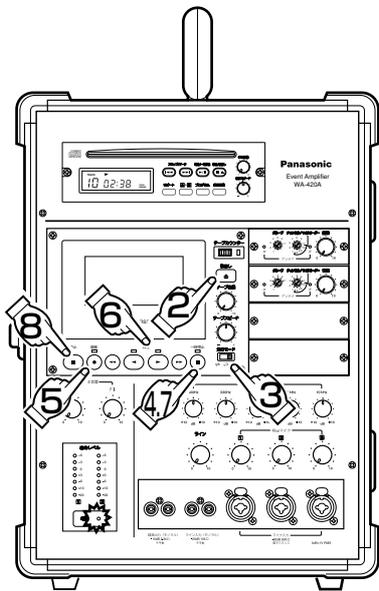
再生を止めるときは、停止ボタンを押します。

録音のしかた

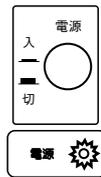


- 各誤消去防止つまみが折られている場合は、録音ボタンを押してその方向の再生ボタンを押すと、録音はキャンセルされます。
- スピーカー出力1/2表示灯は、録音レベルの確認用ではありません。
- 録音レベルは、各機器の音量調節つまみで設定します。

録音できる音源：ワイヤレスマイク、マイク、ライン入力、CD



1



電源を入れる

電源スイッチを押して電源を「入」にし、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2



カセットテープを挿入する

取出しボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを挿入します。

3



走行モードを選択する

テープ走行モード選択スイッチで走行モードを選択してください。
(走行モードについて 17ページ)

4



一時停止ボタンを押す

一時停止ボタンを押すと、一時停止表示灯が点灯します。

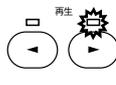
5



録音ボタンを押す

録音表示灯が点灯し、録音待機状態となります。

6



再生ボタンを押す

録音を開始したい方向の再生ボタンを押してください。走行表示灯が点灯し、録音待機状態となります。

7



再度、一時停止ボタンを押す

一時停止表示灯が消え、録音を開始します。

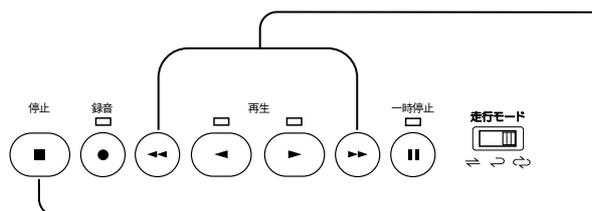
8



録音を終了する

録音を止めるときは、停止ボタンを押します。

早巻きのしかた

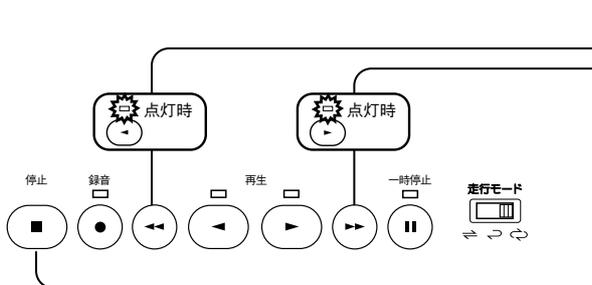


1 早巻きボタンを押す
矢印の方向の早巻きボタンを押すと、その方向の早巻きをします。

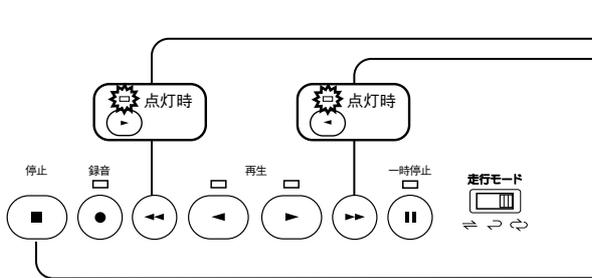
2 停止ボタンを押す
早巻きが解除され、テープが止まります。

一曲頭出し（自動選曲）のしかた

一曲頭出し（自動選曲）とは、録音されている曲間の無録音部分を自動的に検出して、曲の始めから再生する機能です。



1 今聞いている曲の次の曲の頭出しをする場合
再生している方向と同じ矢印の方向の早巻きボタンを押すと、走行方向表示灯が点滅し、早巻きします。次の曲の始めのところで早巻きが解除され、再生状態となります。



2 今聞いている曲の頭出しをする場合
再生している方向と反対の矢印の方向の早巻きボタンを押すと、走行方向表示灯が点滅し、早巻きします。その曲の始めのところで早巻きが解除され、再生状態となります。

頭出し後、再生待機状態にするには

再生中に一時停止ボタンを押して再生待機状態にしてから、上記の1または2の操作を行ってください。

一曲頭出し録音のしかた

一曲頭出し再生をするためには曲と曲の間に3秒以上の無録音部分が必要です。

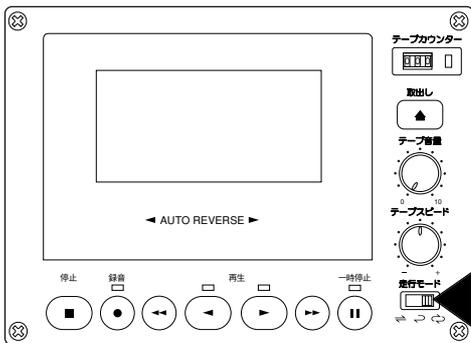


次のような録音状態のテープは頭出しが正常に動作せず、曲の頭でテープが止まらなかったり、曲の途中で止まったりしますので特にご注意ください。

- 曲と曲の間に会話や雑音が入っている ……止まらない
- 曲と曲の間の無録音部分が短い（3秒以下） ……止まらない
- 曲の途中で3秒以上の途切れがある ……曲の途中で止まる
- 弱音の多い音楽や、録音レベルが低いもの ……止まったり、止まらなかったり

走行モードについて

テープの走行モードとして、再生で3モード、録音2モードの中から一つ選択することができます。



- 走行モード 1.「⇒」一方向モード**
正方向(▶)、逆方向(◀)のいずれでも、現在走行している方向のテープエンドで再生(または録音)を停止するモードです。
- 走行モード 2.「↔」往復モード**
正方向(▶)で再生(または録音)をしている場合テープエンドで一度反転し逆方向のテープエンドで再生(または録音)を停止するモードです。逆方向から再生(または録音)を開始した場合はその方向のテープエンドで再生(または録音)を停止します。
- 走行モード 3.「↻」エンドレスモード**
再生時に走行方向のテープエンドで反転を繰り返し、連続して再生を繰り返します。録音時は往復モードと同じ動作になります。

カセットデッキ部の説明（つづき）

カセットテープについて

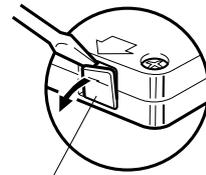
録音されたテープを誤って消去しないために

- 貴重な録音を誤って消去しないためにカセットテープには誤消去防止つめが各面用に各1個ついています。このつめを折ると、テープデッキの誤消去防止装置が働いて再録音できなくなります。
- つめを折り取ったカセットテープを再び録音したいときは、セロハンテープなどをつめの穴の上に貼ってください。再録音が可能になります。

操作

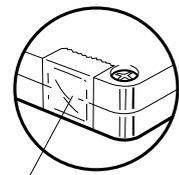


誤消去を防止するには



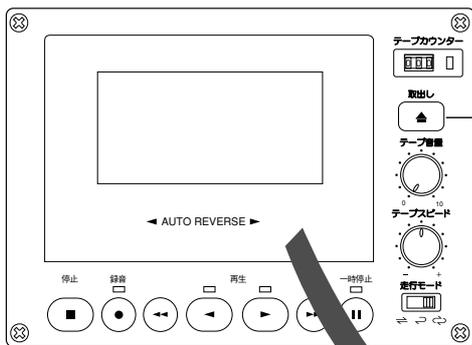
ドライバーなどで折り取る

再び録音したいときは



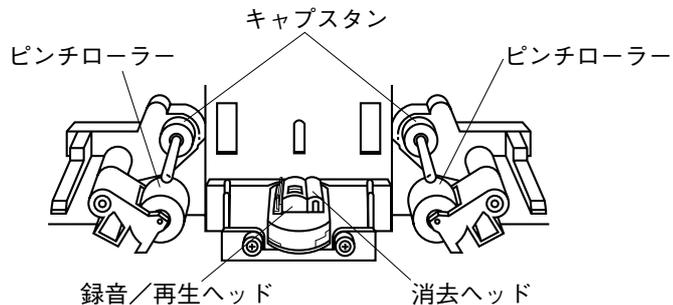
セロハンテープをはる

デッキのお手入れのしかた



1 取り出しボタンを押す
カセットホルダーが開きます。

2 お手入れする
下方にピンチローラー、キャプスタン、録音／再生ヘッド、消去ヘッドが見えます。
綿棒またはやわらかい布でヘッド面やキャプスタン、ピンチローラーを拭き、汚れを取ります。



重要

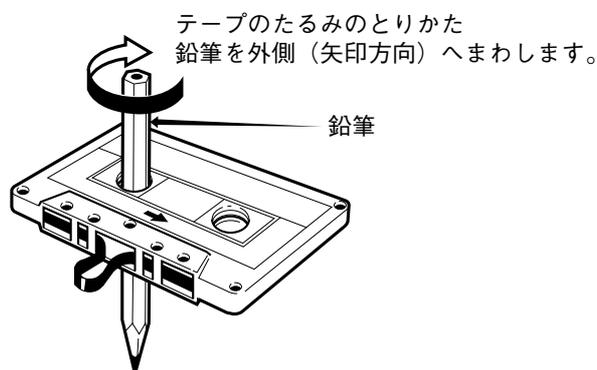
- ヘッド部分にドライバー、ペンチなどの鉄類や磁気類を近づけないでください。ヘッドが磁気を帯びますと録音時の雑音の原因になります。
- ヘッドの清掃は力を入れないでおこなってください。
- 本機に注油しますと故障の原因となります。絶対に注油しないでください。

テープのたるみについて

- カセットテープをデッキに入れる前にテープがたるんでいないことを確かめてください。もし、たるんでいたら六角形の鉛筆などで下図のようにして、たるみをとってください。たるんだまま使用しますとテープが切れたり、伸びたり、巻込んだりしてテープを傷つけることがあります。
- カセットテープのリールを手で回してテープをたるませることも絶対しないでください。
- テープの巻きが強いときや、巻むらがあるときは、一度早送りまたは巻戻しをしてからご使用ください。
- 高温、多湿の所や磁気のある所（テレビやスピーカーの近くなど）を避けて保管してください。（テープの最適保管条件は湿度50%、気温24℃といわれています）
- ホコリの多い所での保管はプラスチックケースなどに収めてください。



- C-120タイプ（120分用）のカセットテープは、ちょっとした不注意でテープが切れたり、伸びたり、巻込んだりしますので使用しないでください。



著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部へお尋ねください。

CDプレーヤー部の説明

各部のなまえ

操作

スキップ/サーチボタン(アップ)

曲(TRACK)の送り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(0.5秒以上)曲を早送りします。

スキップ/サーチボタン(ダウン)

曲(TRACK)の戻り選択をするときに押します。演奏中、このボタンを押し続けると(0.5秒以上)曲を早戻しします。

再生/一時停止ボタン

CDの演奏を始めるときに押します。演奏を一時停止(ポーズ)するときはこのボタンを押します。

停止/取出しボタン

演奏を停止するときには押します。CDを取り出すときは停止中にこのボタンを押します。

CD音量調節つまみ

CDの音量を調節するときには使用します。

CDスピード調節つまみ

CDの演奏スピードを調節するときには使用します。

ディスク挿入口

CDを挿入します。

ディスプレイ

操作または動作状態を表示します。下記説明をお読みください。

リピートボタン

リピート演奏をするときに押します。押すたびに「1曲リピート」→「全曲リピート」→「解除」と切り換わります。

時間表示切換ボタン

演奏時間の表示を切り換えるときに押します。押すたびに「曲の経過時間」→「曲の残り時間」→「総残り時間」と切り換わります。

プログラムボタン

プログラム演奏のプログラム内容を設定するときには押します。

A-Bリピートボタン

A-Bリピート演奏の開始点と終了点を設定するときには押します。

(ディスプレイ部の名称と説明)

一時停止表示

一時停止状態のときに点灯します。

再生表示

演奏状態のときに点灯します。

演奏時間表示

演奏中の曲、またはCD全曲の経過時間及び残り時間の目安を表示します。

トラック表示

演奏中の曲(トラック)番号を表示します。

演奏時間表示(分:秒)

CDの経過または残り時間を表示します。演奏スピード調節時は調節値(±15%)を表示します。

演奏スピード調節表示

CDの演奏スピード調節中は「SPEED」と、調節状態「+」「-」を表示。調節値は演奏時間表示に点灯します。

リピート表示

リピート演奏のときに点灯します。
 : 1曲のみリピート演奏
 ALL : 全曲リピート演奏

A-Bリピート表示

A-Bリピート演奏のときに点灯します。

プログラム表示

プログラム演奏のときに点灯します。

シングルCD表示

シングルCD(8 cmCD)挿入時に点灯します。

演奏時間モード表示

時間表示切換ボタンを押すと、下表の順に表示が切り換わります。

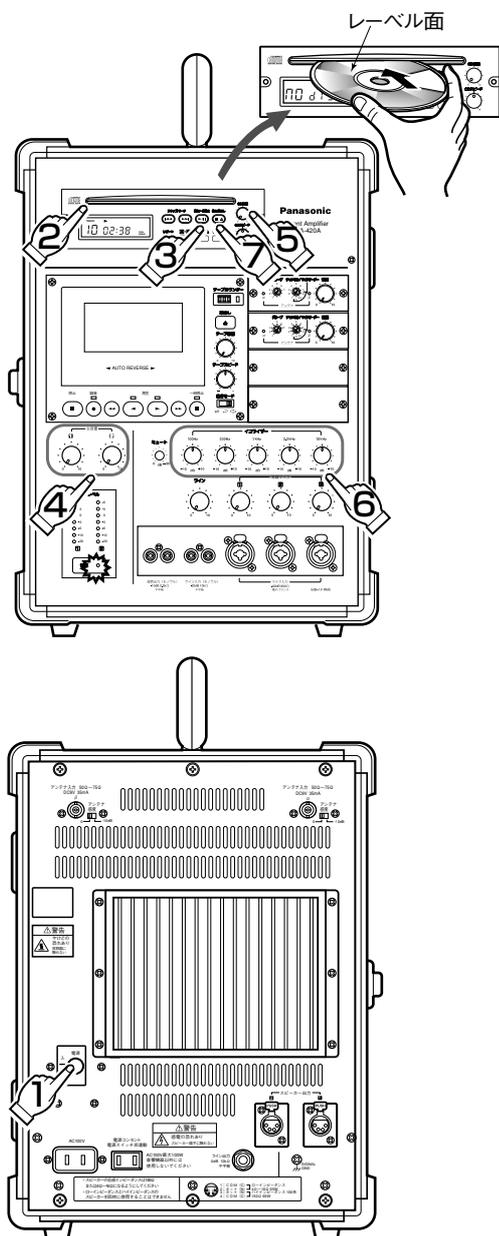
演奏時間モード表示	演奏時間表示の内容
ELAPSED	演奏中の曲の経過時間
SINGLE	演奏中の曲の残り時間
TOTAL	CD全曲の残り時間
REMAIN	

再生のしかた

⚠️ 注意

電源を入れる前に、各音量を最小にする

突然大きな音を出すと、聴力障害、けがや事故の原因になります。



1



電源を入れる

電源スイッチを押して電源を「入」にし、電源表示灯が点灯していることを確認してください。

2

CDを挿入する

レーベル面を上にしてCDを入れると、トータルトラック及び全演奏時間を表示し停止状態になります。シングルCDを挿入する際は、挿入口の中央から入れてください。

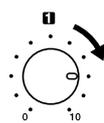
3



再生/一時停止ボタンを押す

再生/一時停止ボタンを押すたびに、再生/一時停止を繰り返します。

4



スピーカー（1/2）音量を調節する

スピーカー出力1/2音量調節つまみを目盛位置「8」をめやすに調節してください。

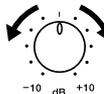
5



音量を調節する

CD音量調節つまみを適当な位置に調節してください。

6



音質を調節する

音質を各イコライザー音質調節つまみで調節してください。

7

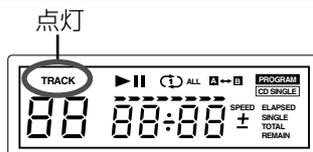


再生を終了する

再生を止めるときは、停止/取出しボタンを押します。

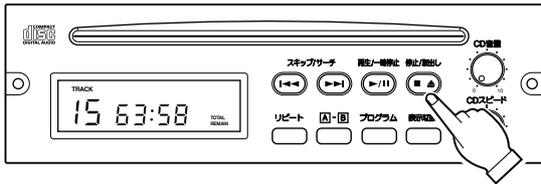


- CDが挿入されているときはディスプレイ部に“TRACK”が点灯します。
- シングルCD（8 cm CD）は、アダプターをつけずに挿入してください。
- CD-R、CD-RWは使用できません。



CDプレーヤー部の説明（つづき）

CDを取り出すには

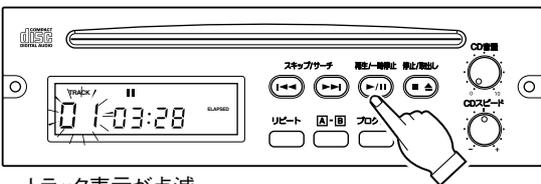


停止／取出しボタンを押す

停止中に停止/取出しボタンを押すと、CDを取り出すことができます。

演奏中の場合は停止/取出しボタンを押して演奏を停止してから、再度押してCDを取り出してください。

演奏を一時停止（ポーズ）するには



トラック表示が点滅



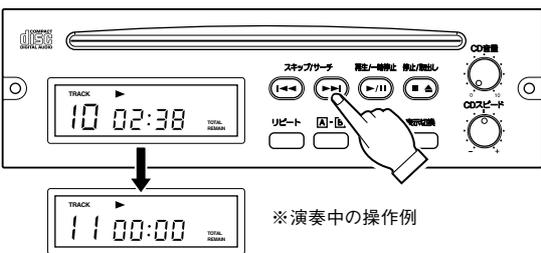
再生／一時停止ボタンを押す

演奏中に再生/一時停止ボタンを押すと、演奏が止まります。再度押すと再生します。

操作

曲を選ぶには

●次の曲を聴きたいときには



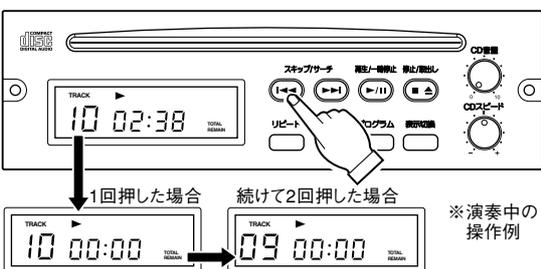
※演奏中の操作例



スキップ／サーチボタンを押す

演奏中にスキップ/サーチボタンを押すと次の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと次の曲番号に表示が換わります。

●前の曲を聴きたいときには



※演奏中の操作例

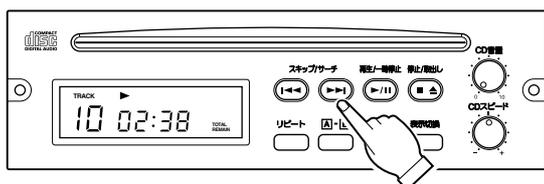


スキップ／サーチボタンを押す

演奏中にスキップ/サーチボタンを押すと演奏中の曲の頭に戻り、演奏を開始します。続けて2回押すと前の曲の頭に移動し、演奏を開始します。停止中に押すと前の曲番号に表示が換わります。

早送り/早戻しするには

●曲を早送りするには



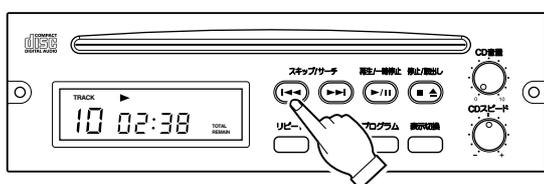
スキップ/サーチ



スキップ/サーチボタンを押し続ける

0.5秒以上押すと早送りし、離すとその位置から演奏を開始します。

●曲を早戻しするには



スキップ/サーチ

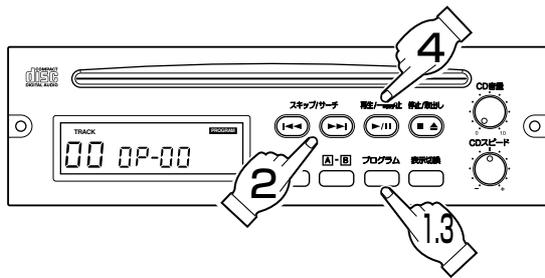


スキップ/サーチボタンを押し続ける

0.5秒以上押すと早戻しを行い、離すとその位置から演奏を開始します。

CDプレーヤー部の説明（つづき）

プログラム演奏をするには（演奏する曲と曲順を自由に設定する）



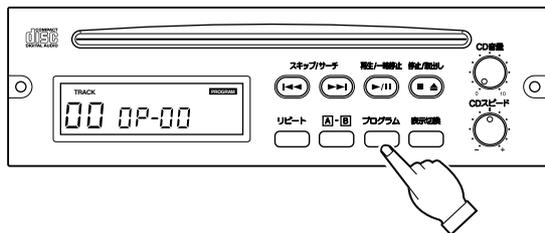
1  **プログラム**
停止中に
プログラムボタンを押す

2  **スキップサーチ**
スキップサーチボタンを押す
プログラムしたい曲番を表示させます。

3  **プログラム**
プログラムボタンを押す
2,3を繰り返し、最大32曲までプログラム
することができます。

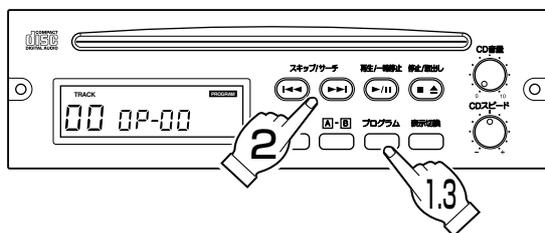
4  **再生／一時停止**
再生／一時停止ボタンを押す
プログラムした曲順で演奏します。

●プログラム内容を確認するには



 **プログラム**
上記3で登録後、
プログラムボタンを押す
プログラムボタンを繰り返し押すことにより、
プログラム内容を確認することができます。

●プログラム内容を変更するには

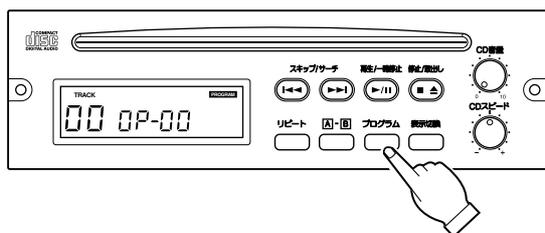


1  **プログラム**
登録後、
プログラムボタンを押す
上記「プログラム内容を確認するには」の手
順で変更したいプログラム番号を選択しま
す。

2  **スキップサーチ**
スキップサーチボタンを押す
変更したい曲番を表示させます。

3  **プログラム**
プログラムボタンを押す
曲番が登録されます。

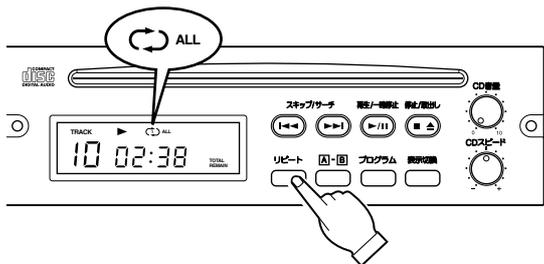
●プログラム内容を解除するには



 **プログラム**
プログラム演奏中に、
プログラムボタンを押す
ディスプレイ部の“PROGRAM”が消えて、
演奏している曲から通常の演奏になります。

1曲または全曲を繰り返し聴くには (リピート演奏)

演奏中の曲または、CD全曲を繰り返し演奏します。



リピートボタンを押す

押すたびに (Repeat icon) → (Repeat icon with ALL) → 無表示の順に変わります。

	1曲リピート (今演奏している曲を繰り返し演奏)
	全曲リピート (CD全曲を繰り返し演奏)
(無表示)	リピート解除 (CDの最後の曲まで演奏)

指定した部分を繰り返し聴くには (A-Bリピート演奏)

演奏中のCDの指定した部分を繰り返し演奏します。(指定できる部分は連続する1区間のみ)

●A-Bリピート演奏を設定するには

設定例

■ A-Bリピート演奏区間

◆4曲目の指定した部分を繰り返し演奏

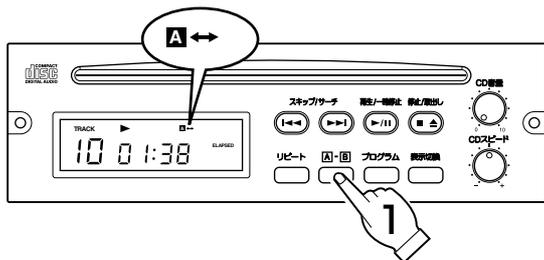
CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
	A	B			

◆6曲目の頭から8曲目の途中までを繰り返し演奏

CK 3	TRACK 4	TRACK 5	TRACK 6	TRACK 7	TRACK 8
			A		B



●リピート演奏中、またはプログラム演奏中にこの設定はできません。

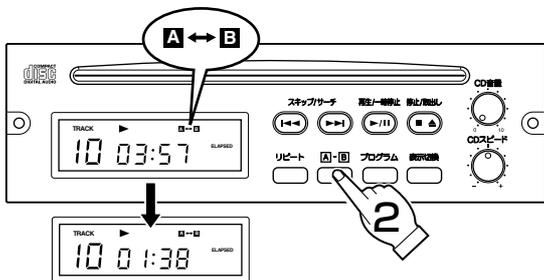


1



A-Bリピートボタンを押す (開始点の設定)

演奏中、繰り返したい部分の開始点でA-Bリピートボタンを押します。



2



再度A-Bリピートボタンを押す (終了点の設定)

繰り返したい部分の終わりでA-Bリピートボタンを押します。その後、その区間の繰り返し演奏が開始します。

A-Bリピート演奏が開始する

●A-Bリピート演奏を解除するには



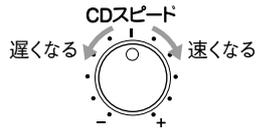
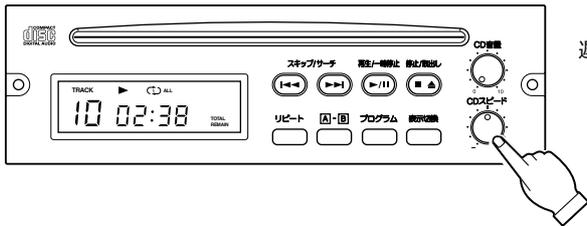
A-Bリピート演奏中に、A-Bリピートボタンを押す

ディスプレイ部の“A-B”が消えてA-Bリピートは解除され、通常の演奏に戻ります。

CDプレーヤー部の説明（つづき）

演奏スピードを調節するには（CDスピード調節）

CDの演奏スピードを±15%の範囲で調節できます。



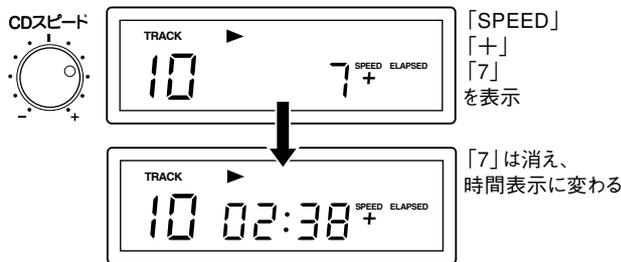
再生中に、
スピード調節つまみをまわす
演奏スピードを調節します。



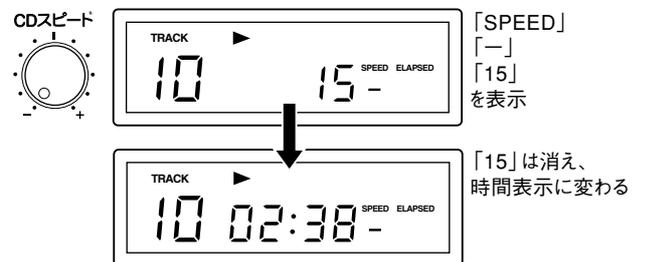
- スピード調節と同時に音程も変化します。

操作

例1) 演奏スピードを速く（約7%）調節



例2) 演奏スピードを遅く（約15%）調節



Err（エラー）表示の状態を解除できない場合

エラー表示（Err）：CDプレーヤーになんらかの原因により異常が発生した場合、Err（エラー）が表示され操作することができなくなります。



停止／取出しボタンと、リピートボタンを同時に3秒以上押し続ける

エラー状態が解除されます。



- エラーを解除しても、再びErr（エラー）が表示する場合は電源スイッチを切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

コンパクトディスクの取り扱いについて

確認事項

本機は “  ” 表示のあるコンパクトディスクにのみ使用できます。

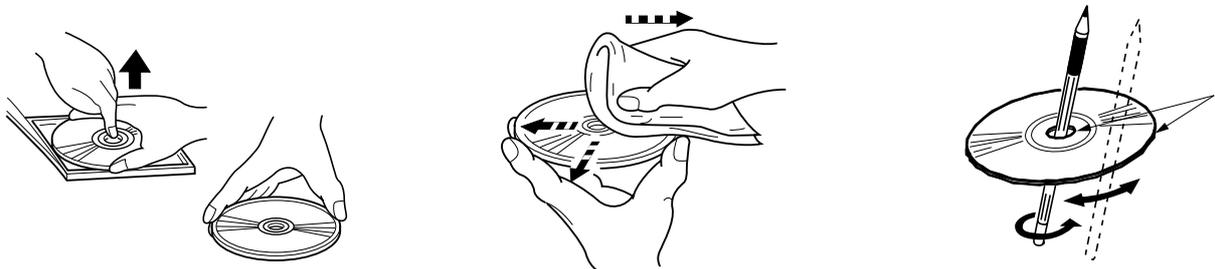
使用上のお願い

- 冷えた場所から急激に温度が高くなる場所へ移動し、すぐに本機を使用すると、ディスクや光学部品が曇って（細かな水滴が付いて）正常な動作を行わないことがあります。ディスクが曇っているときは、柔らかい布でふいてください。光学部品が曇っているときは1時間ほど放置しておくで自然に曇りがとれ正常に動作します。
- 本機を傾けた状態で使用すると正常に動作しないばかりでなくメカニズム内部で引っ掛かりなどが発生し、ディスクに傷を付ける場合があります。
- CD挿入口からのディスクの出し入れは無理に行わないでください。本機の故障やディスクに傷を付ける恐れがあります。
- ディスク走行中あるいはディスクをイジェクトしている状態で電源スイッチを切ったり、電源プラグを抜いたりしますと、ディスクが取り出せなくなることがあります。いったん電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントに差し、再度電源スイッチを入れてディスクを取り出してください。

操作

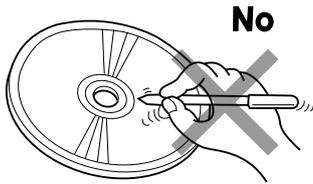
コンパクトディスクの取り扱いかた

- 保護ケースからコンパクトディスクを取り出す場合、図のようにケース中心部を押し、コンパクトディスクの両端を持ってください。また、ディスク面には直接手を触れないようにしてください。
- コンパクトディスクをふく場合は、乾いた柔らかい布で図のように、中心から外に向かってふいてください。
- 新しいディスクには、ディスクの周囲に“バリ”が残っていることがあります。このようなディスクをご使用になると、動作しなかつたり音飛びの原因となります。ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。

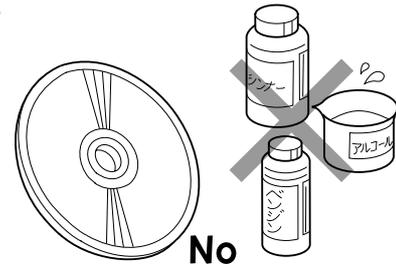


コンパクトディスクの取り扱いについて (つづき)

- ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどでキズをつけたりしないでください。

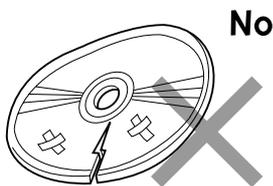


- コンパクトディスクは、きれいなものをご使用ください。もし、汚れている場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。固い布や、シンナー、ベンジン、アルコールなどは絶対に使用しないでください。

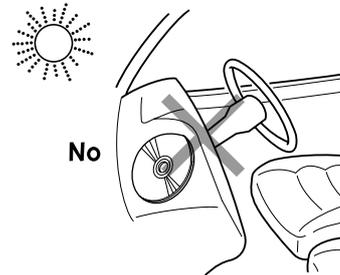


操作

- 大きいキズ、変形、ヒビなどがあるコンパクトディスクは使用しないでください。誤動作や故障の原因となる場合があります。



- コンパクトディスクは熱に弱いので、直射日光のあたる場所やヒーターなどの近くに置かないでください。



- 市販のCD保護シートや、スタビライザなどを装着したディスクは使用しないでください。メカニズム内部で引っ掛かりなどが発生し、ディスクを傷つける場合があります。

ワイヤレスチューナーユニット部の説明

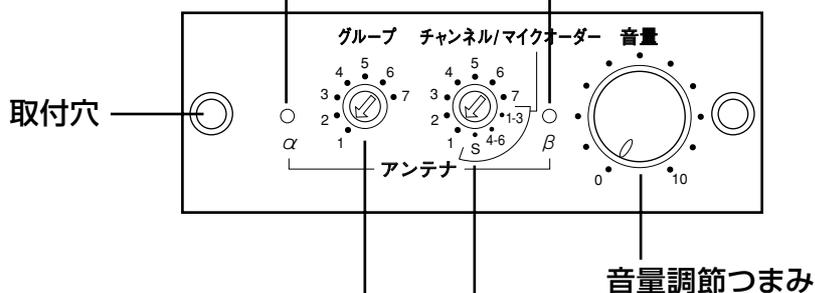
各部のなまえ

アンテナ α 受信表示灯

電源を入れたら、赤色に点灯します。電波受信時は、アンテナ α 入力の電波が選択されると緑色に点灯し、選択されないときは赤色に点灯します。

アンテナ β 受信表示灯

電源を入れたら、赤色に点灯します。電波受信時は、アンテナ β 入力の電波が選択されると緑色に点灯し、選択されないときは赤色に点灯します。



グループ設定スイッチ

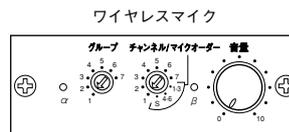
使用するワイヤレスマイクのグループ番号と同じ数字に設定してください。

チャンネル設定スイッチ

使用するワイヤレスマイクのチャンネル番号と同じ数字に設定してください。

受信グループとチャンネルの設定について

- 設定には、ワイヤレスマイク、または別売ワイヤレスチューナーユニット（WX-D4002A）に付属しているドライバーを使用し、ワイヤレスマイク1とワイヤレスマイク2のグループとチャンネルを、それぞれ使用するワイヤレスマイクと同じグループ、チャンネルに設定します。



- チューナーユニットを増設した場合も、同様にグループ、チャンネルを設定します。



- ワイヤレスマイク1とワイヤレスマイク2（ワイヤレスチューナーユニット増設時はワイヤレスマイク1、2、3、4）のグループは同じグループに設定し、チャンネルは異なるチャンネルに設定してください。
異なるグループに設定すると、混信、ビートの原因となります。
- ワイヤレスマイク1とワイヤレスマイク2（ワイヤレスチューナーユニット増設時はワイヤレスマイク1、2、3、4）のグループ、チャンネルを同一にしないでください。
同じグループ、チャンネルに設定するとビートの原因となります。

受信周波数表

No.	No. 周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)						7波使用例
		1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ	6グループ	
1	806.125	B11						B71
2	806.250		B21					
3	806.375	B12						B72
4	806.500		B22					
5	806.625			B31				
6	806.750				B41			
7	806.875			B32				B73
8	807.000		B23					
9	807.125	B13						
10	807.250					B61		
11	807.375			B33				
12	807.500				B42			B74
13	807.625					B51		
14	807.750	B14						
15	807.875		B24					
16	808.000				B43			
17	808.125					B52		
18	808.250			B34				
19	808.375					B53		
20	808.500		B25					B75
21	808.625			B35				
22	808.750					B54		
23	808.875		B26					
24	809.000	B15						
25	809.125				B44			
26	809.250			B36				
27	809.375				B45			B76
28	809.500	B16						
29	809.625					B55		
30	809.750				B46			B77



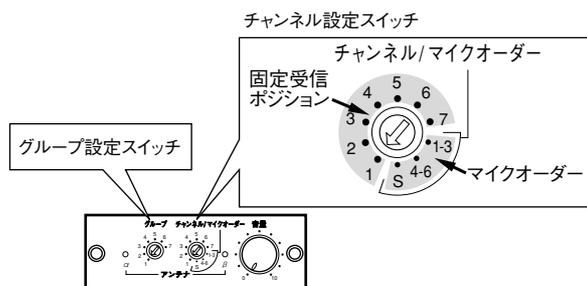
- 次の使用条件下で使用した場合は、7波使用も可能です。（7グループ）
 - ・ ワイヤレスマイクとワイヤレスマイクの間を50 cm以上離す。
 - ・ ワイヤレスマイクとワイヤレス受信機間およびワイヤレスマイクとアンテナ間を5 m以上離す。
 - ・ 隣り合った部屋では、ワイヤレスマイクを使用しない。
 - ・ アンテナ利得切換スイッチのポジションは、「-10 dB」で使用する。



- B型ラムサは、トーン周波数が異なるため使用できません。

マイクオーダーについて

- 本機は1本のマイクに対して専用のチャンネルを固定して受信する設定と、任意の複数チャンネルを選択して受信する「マイクオーダー」の設定が可能です。



◆マイクオーダーのチャンネル組み合わせ表

グループ設定スイッチ チャンネル設定スイッチ	1	2	3	4	5	
マイク オーダー	1-3	B11 B21 B31	B41 B51	B12 B22 B32	B42 B52	
		B13 B23 B33	B43 B53			
	4-6	B14 B24 B34	B44 B54	B15 B25 B35	B45 B55	
		B16 B26 B36	B46 B56			
	S	使用不可				

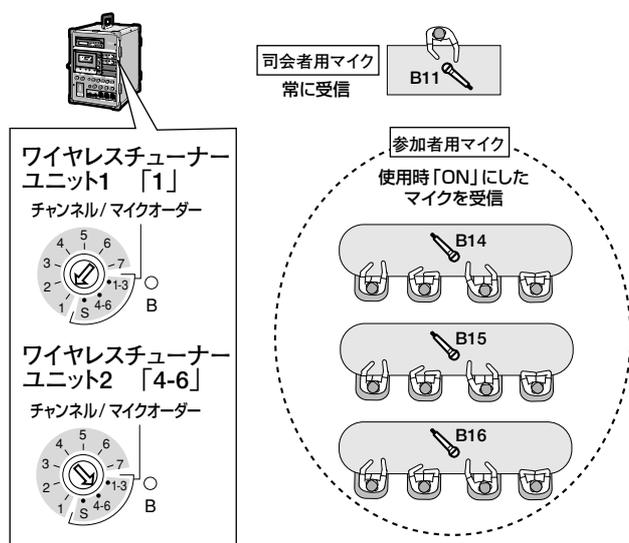
マイクオーダーとは

- チャンネル設定スイッチをマイクオーダーに設定しますと、グループ内の2～3チャンネルのワイヤレスマイクを受信することができます。
- 最大3チャンネルの受信が可能です。最初に使用（電源スイッチ「ON」）したワイヤレスマイクのチャンネルを優先し、受信します。
- 受信中マイクの使用が終わり（電源スイッチ「OFF」）、約2秒後に設定されたチャンネルのマイクが受信可能になります。
- 受信可能なチャンネルの組み合わせは上記のマイクオーダーのチャンネル組み合わせ表をご参照ください。またグループの設定は「1、2、3、4、5」のいずれかに設定してください。「6」「7」には設定しないでください。

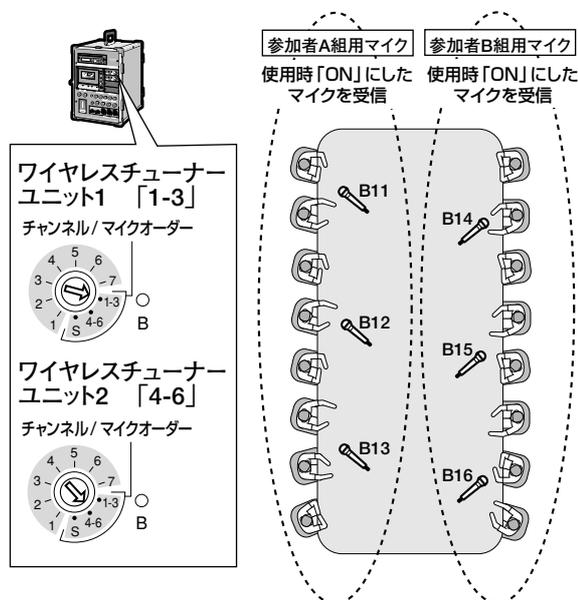


- 重要 ●チャンネル設定スイッチ「S」は使用しないでください。（混信、ビートの原因となります）
- ワイヤレスチューナーユニット増設時はマイクオーダーの設定はしないでください。（混信、ビートの原因となります）
- マイクオーダーは、複数のワイヤレスチューナーユニットで同じ設定にしないでください。
- 同じ組のマイクは、同時に2本受信できません。

●マイクオーダー運用例1



●マイクオーダー運用例2



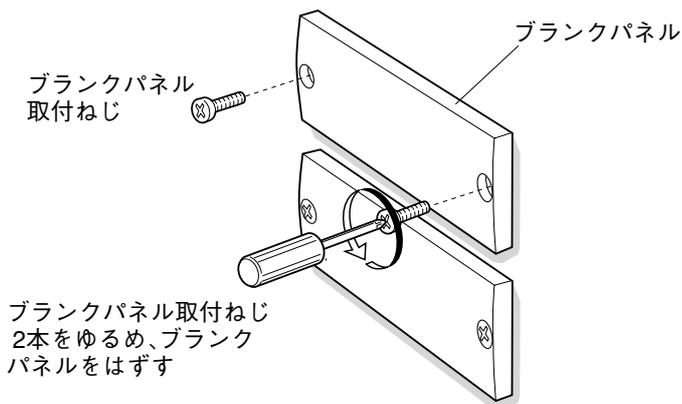
ワイヤレスチューナーユニットの取付

本機は別売のワイヤレスチューナーユニットWX-D4002Aを2台まで増設し、合計4台まで組み込むことができます。取り付けはお買い上げの販売店にご相談ください。

1 ブランクパネルを外す

本機の電源プラグをコンセントから抜き、ブランクパネルを外してください。

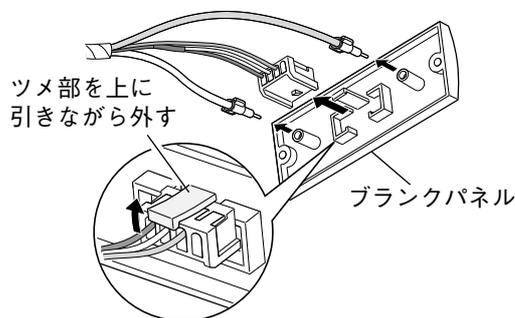
ブランクパネルの裏側には4Pコネクタート同軸コネクタ（A）が差し込まれていますので、それらをブランクパネルから取り外してください。



警告

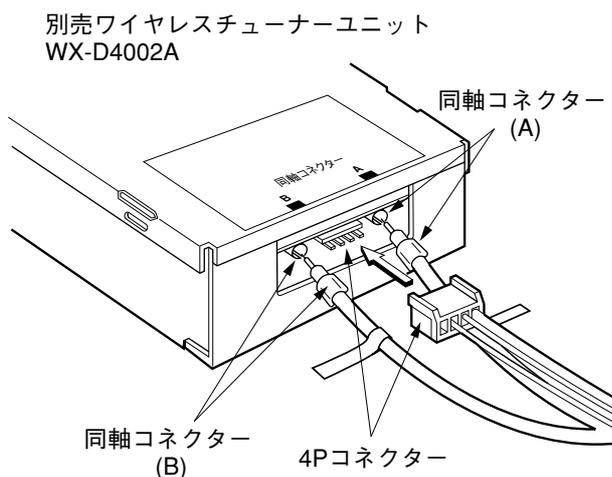
使用中にブランクパネルを外さない

電源が入った状態で行うと、感電の原因になります。本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。



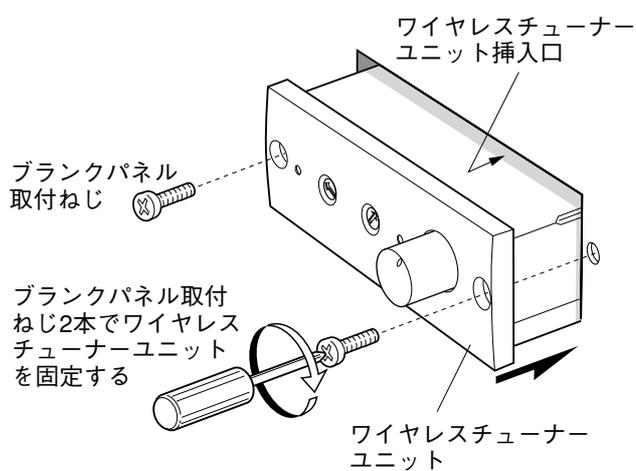
2 各コネクタをワイヤレスチューナーユニットに接続する

- ワイヤレスチューナーユニットを組み込む場合は、本機側とユニット側の同軸コネクタおよび4Pコネクタを接続してください。同軸コネクタは必ず、同じ表示（A・B）のものと接続してください。



3 各コネクタをワイヤレスチューナーユニットに接続する

ワイヤレスチューナーユニットを本機のチューナーユニット挿入口に挿入し、空白パネルを取り付けてあった2本のねじで固定してください。



- 空白パネルから4Pコネクタを外す際には、空白パネルのロックつめを外してからとり外してください。ワイヤレスチューナーユニット挿入時は、接続コードをはさみ込まないようにしてください。
- ねじを強く締めすぎると、ねじが破損する恐れがあります。
推奨締付トルク：約0.49 N・m {5 kgf・cm}

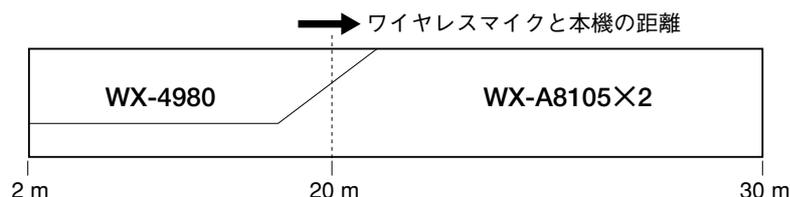
アンテナについて

本機は、ワイヤレスマイクの使用距離などに合わせて、2種類の専用アンテナ（別売品）を使用します。

専用アンテナ（ホイップタイプ） WX-4980（別売品 2本1組）

（設置型） WX-A8105（別売品）2本使用します。

ワイヤレスマイクの使用距離とアンテナについて



- ホイップタイプアンテナは、狭いエリア（約20 m以内）で、使用できます。広いエリアでは、設置型アンテナを使用します。
- 狭いエリアでも、ホイップタイプアンテナの近くに障害物がある場合は、設置型アンテナを使用します。

ホイップタイプアンテナ(WX-4980)設置上のお願い

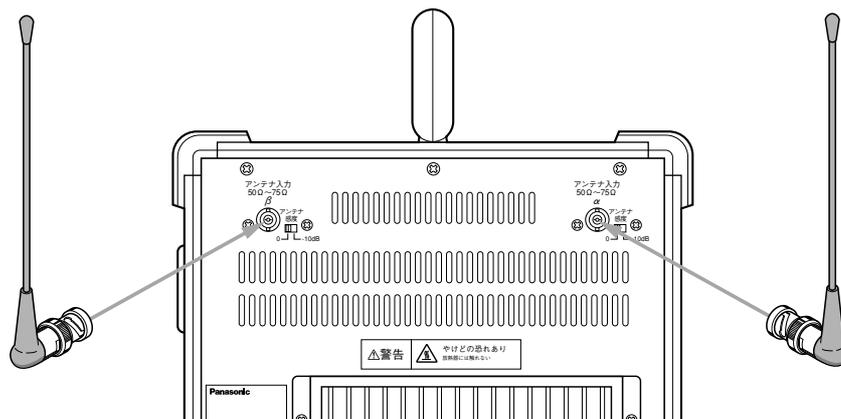
- 本機をホイップタイプアンテナで使用する場合は、専用アンテナWX-4980（別売品2本1組）を使用します。他のホイップアンテナは使用しないでください。
- 高層ビル内や、放送局、業務電波基地局の近くで使用する場合は、放送電波、業務電波および外来ノイズなどの影響を少なくするため、なるべく遠い位置に本機を設置します。高層ビルの場合は、窓から3 m以上離して設置してください。
- ホイップタイプアンテナは本体に直接装着し、ワイヤレスマイクの移動する範囲内でアンテナエレメントが見えるように垂直に取り付けてください。
- 近く（30 cm以内）に電線や金属物などがあるところには、本機を設置しないでください。アンテナの受信感度が低下します。
- 雑音電波を発生させるコンピューターや空気清浄機などからできるだけ遠い位置に設置してください。
- アンテナの接続は完全に行ってください。
- 同じ周波数の妨害波、高周波を使う機器が近くにないか確かめてください。やむをえず雑音源の近くで使用する場合は、ワイヤレスマイクと本機の距離を2 m～10 mにしてください。
なお、2 m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など、本機が誤動作することがあります。
やむをえず2 m以内で使用する場合は、アンテナ感度切換スイッチ「0/−10 dB」を“−10 dB”側に切り換えてください。

別売ワイヤレスアンテナ(WX-4980)仕様

2本1組直付けタイプホイップアンテナ	
運用周波数	800 MHz帯
アンテナ型式	5/8 λ ホイップタイプ
アンテナ利得	2.14 dBi以下
コネクター	BNC-Pタイプ
寸法	直径 14.5 mm 高さ 245 mm 奥行き 33 mm
質量	約30 g/本

ホイップタイプアンテナ(WX-4980)設置のしかた

- ワイヤレスマイクの移動する範囲内でアンテナエレメントが見えるように、本機背面のアンテナ端子アンテナα、アンテナβに垂直か、やや開きぎみに取り付けます。



設置型アンテナ(WX-A8105)設置上のお願い

- 本機を設置型アンテナで使用する場合は、専用アンテナWX-A8105（別売品）を2台使用します。2台以上のアンテナは接続できません。
他のアンテナ(WX-4960など)は受信方式が異なるため使用できません。
- WX-A8105（別売品）の取扱説明書の「設置上のお願い」をよくお読みのうえ設置を行ってください。
 - 本機のアンテナ入力端子はBNC専用です。WX-A8105に付属のBNCコネクタで接続してください。
 - 高層ビル内では外来ノイズの影響を少なくするため、窓から最も遠い位置に設置してください。
 - アンテナはワイヤレスマイクの移動する範囲でアンテナが見える位置に垂直に取り付けてください。
 - 近くに金属物などがあるところには設置しないでください。
 - 雑音電波を発生させる機器から遠い位置に設置してください。
 - 同軸ケーブル、コネクタの処理、接続は完全に行ってください。
 - ダイバシティ受信効果を発揮するため、アンテナ間隔は5 m～10 mにしてください。
- 同じ周波数の妨害波、高周波を使う機器が近くにないか確かめてください。やむをえず雑音源の近くで使用する場合は、ワイヤレスマイクとアンテナの距離を2 m～10 mにしてください。
なお、2 m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など、本機が誤動作することがあります。

設置型アンテナ(WX-A8105)設置のしかた

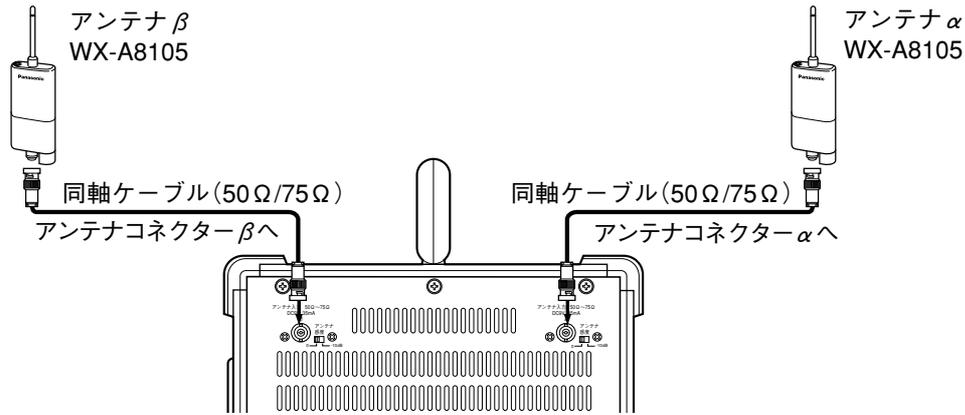
- アンテナの設置はWX-A8105（別売品）の取扱説明書「設置のしかた」をよくお読みのうえ設置を行ってください。

アンテナについて (つづき)

設置型アンテナ(WX-A8105)接続のしかた

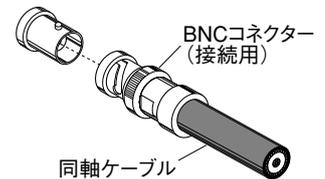
- 本機が接続できるアンテナは最大2本です。

(設置例)



- 接続には必ずBNCコネクタ (別途調達) をご使用ください。

ワイヤレスアンテナBNCコネクタ



●BNCコネクタと同軸ケーブルとアンテナの感度について

- BNCコネクタの処理は、WX-A8105 (別売品) の取扱説明書「接続のしかた」をよくお読みのうえ処理してください。
- 同軸ケーブルは、良質の低損失のケーブルを使用してください。また、50 Ω系でも75 Ω系でも使用できます。
- 使用する同軸ケーブルにより、ケーブルの長さが異なります。下表の範囲内で使用してください。

同軸ケーブルの種類	アンテナから本機までの長さ	太さ
5C-2V/5D-2V	20 m以内	約φ7.3
5C-FB/5D-FB	40 m以内	約φ7.6

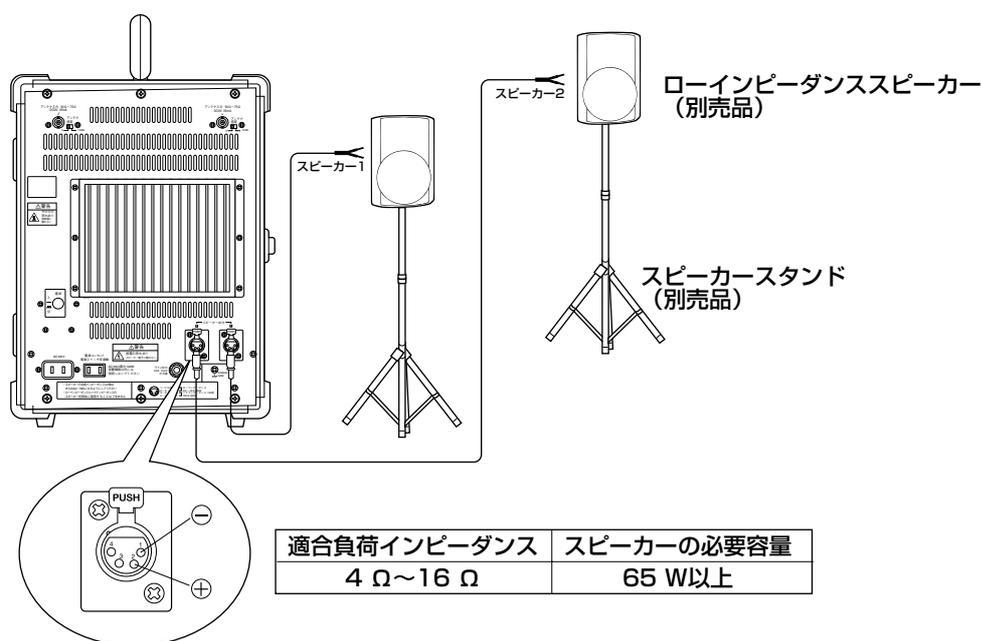
- アンテナ内部のアンテナ感度について
本機にWX-A8105 (別売品) を接続する場合は、WX-A8105内部のアンテナ利得は、「L 7dB」に固定されています。
- 本機の背面にある、アンテナ感度切換スイッチ0 dB/−10 dBは、有効です。
使用状況などにより、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信などが発生する場合は、−10 dBに切り換えてください。この場合はワイヤレスの使用距離が短くなります。
(アンテナ感度切換スイッチ 12ページ)

スピーカーの接続のしかた

ローインピーダンススピーカーの接続

- ローインピーダンススピーカーを接続する場合は、付属のキャノンタイプコネクタを使用してください。
また、ローインピーダンススピーカーケーブルは結線図のように結線してください。(キャノンタイプコネクタの説明 39ページ)
- 本機のスピーカー出力1/2コネクタに接続できるスピーカーは下表のとおりです。

接続例



警告

使用中は、スピーカー端子に触れない

定格出力時には100 Vの電圧がかかり、感電の原因になります。

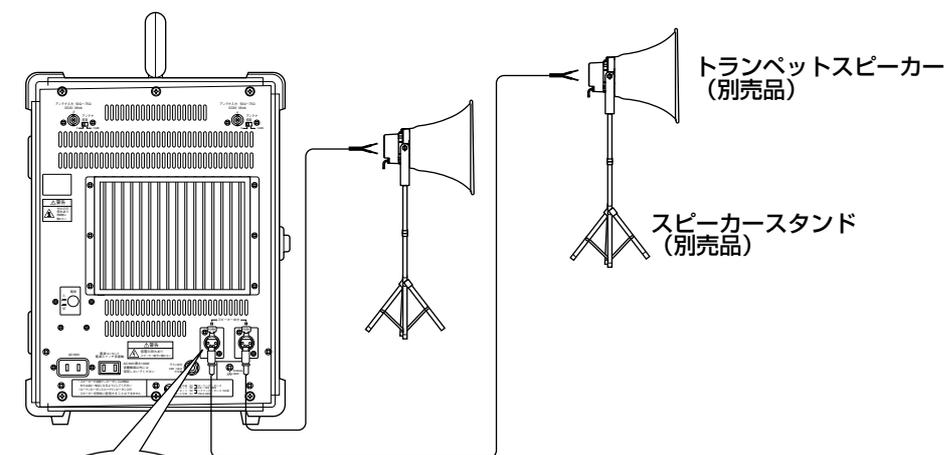
- 重要 ●ローインピーダンススピーカーとハイインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。
- 多数のスピーカーを接続するときは、スピーカー出力1/2コネクタそれぞれの合成インピーダンスが4 Ω以下にならないようにしてください。
- 使用するスピーカーの定格入力、スピーカー1個に加わる入力W数より大きいものを使用してください。

スピーカーの接続のしかた (つづき)

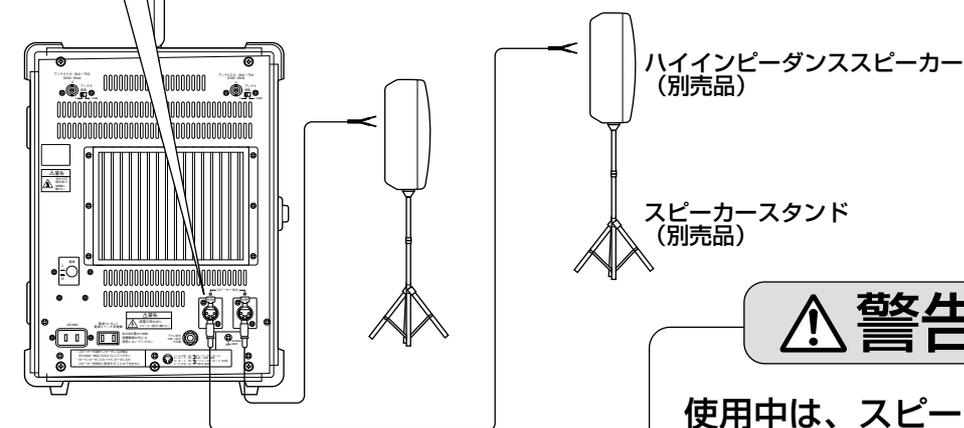
ハイインピーダンススピーカーの接続

- ハイインピーダンススピーカーを接続する場合は付属のキャノンタイプコネクタを使用してください。また、ハイインピーダンス出力は結線図のように接続してください。(キャノンタイプコネクタの説明 39ページ)
- 本機のスピーカー出力1/2コネクタに接各々接続できるスピーカーは下表のとおりです。

接続例



適合負荷インピーダンス	スピーカーの必要容量
150 Ω以上	ハイインピーダンススピーカーの合計容量が65 W以内



警告

使用中は、スピーカー端子に触れない

定格出力時には100 Vの電圧がかかり、感電の原因になります。



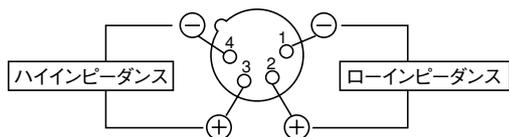
- スピーカーの合成インピーダンスが、アンプの適合インピーダンスより小さくならないようにしてください。
- スピーカーの合計W数はアンプの定格出力以下にしてください。
- ローインピーダンススピーカーとハイインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。

コネクターについて

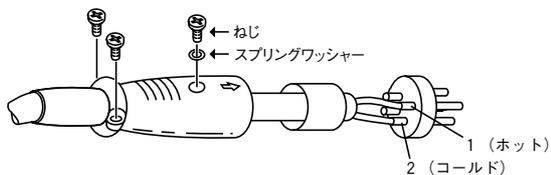
本機のマイク入力端子とスピーカー出力端子は、キャノンタイプ（XLR-3-31、XLR-4-31相当）です。

結線図

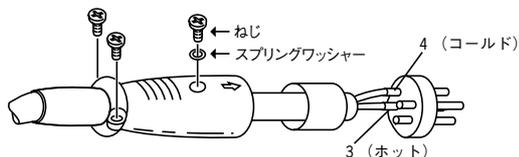
●スピーカー出力用（XLR-4-12C相当）



ローインピーダンス

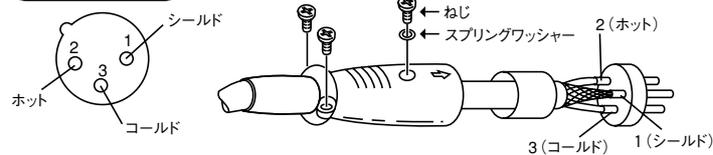


ハイインピーダンス

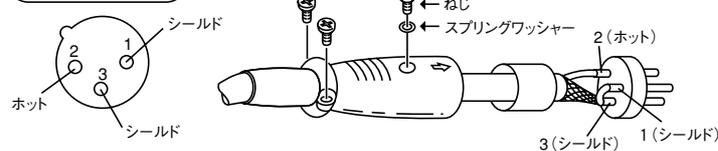


●マイク入力用（XLR-3-12C相当）

マイク（平衡）



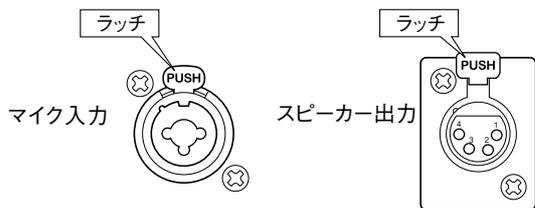
マイク（不平衡）



- ハイインピーダンススピーカーとローインピーダンススピーカーを同時に使用することはできません。

外しかた

キャノンタイプコネクターを外すときは、本機側コネクターのラッチを押しながらかいてください。

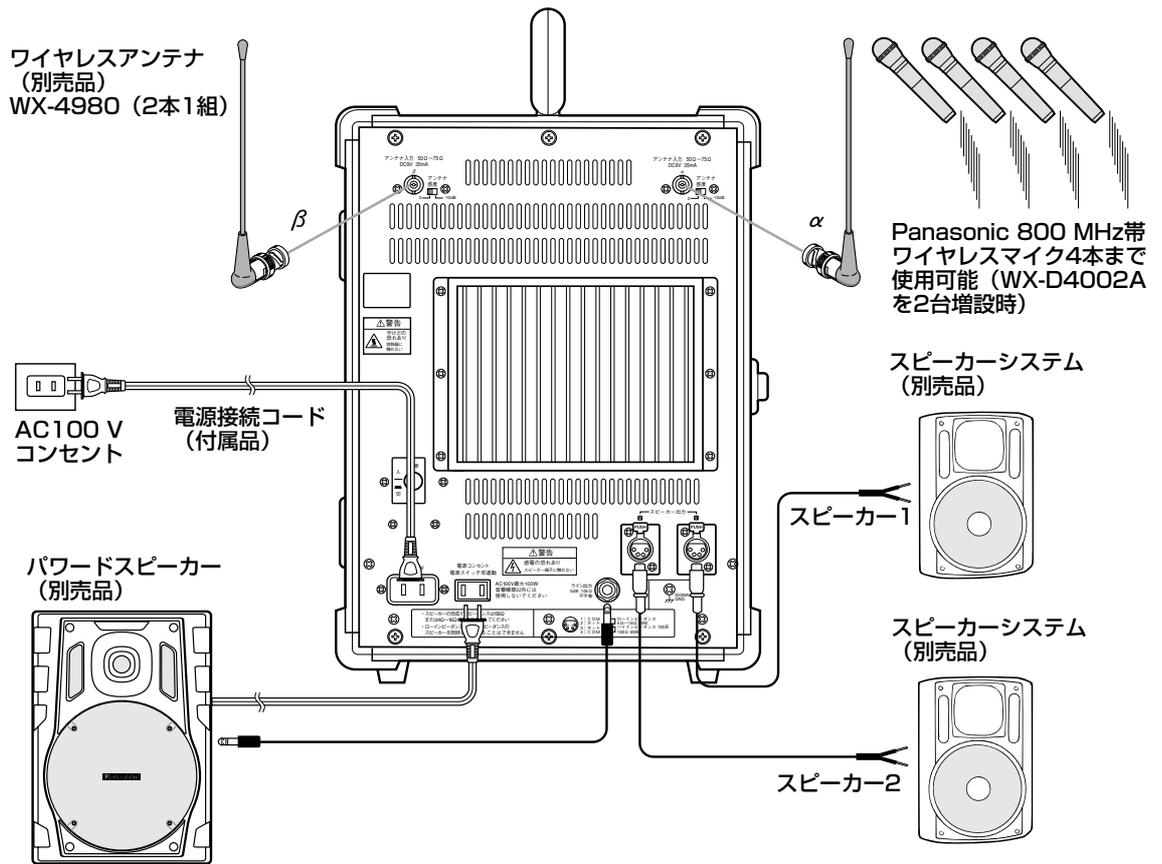
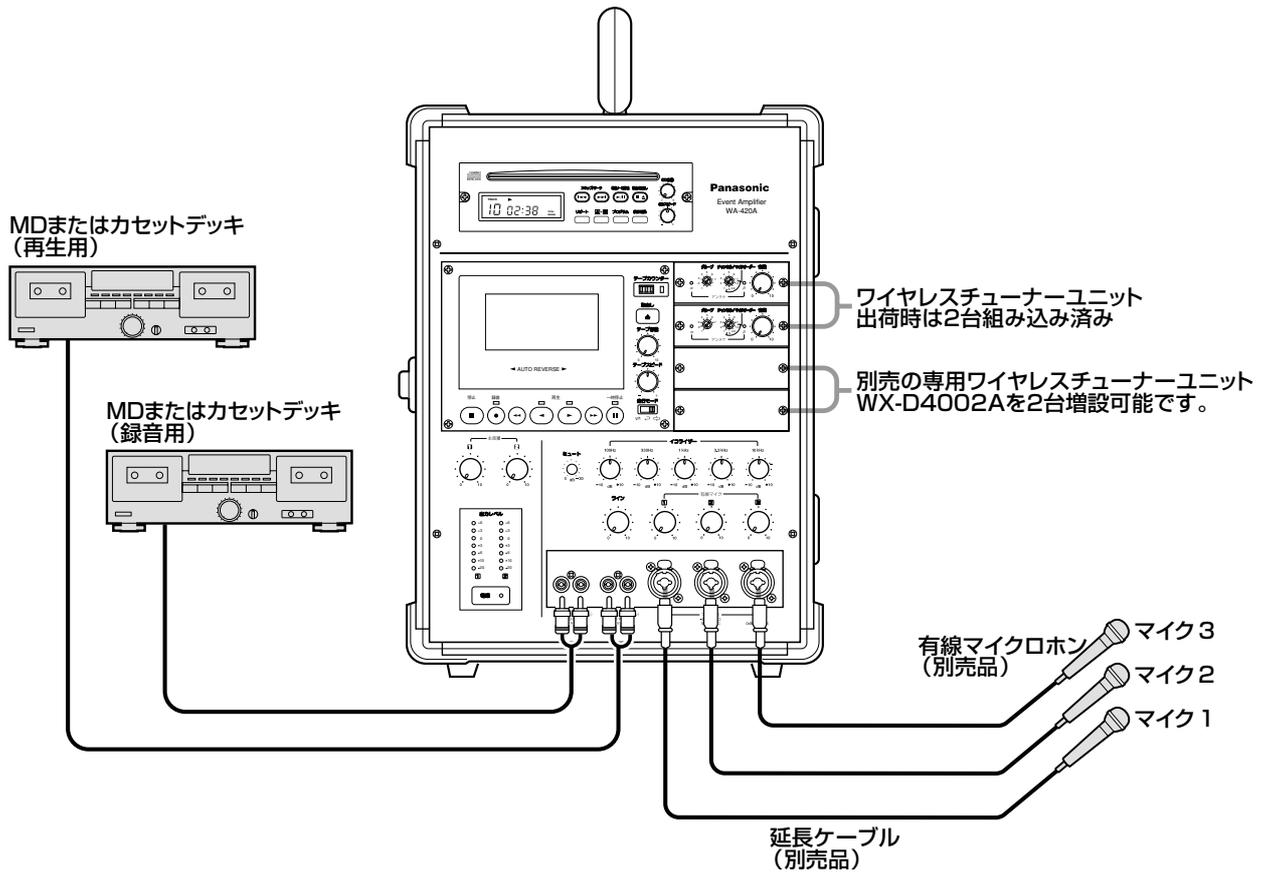


⚠ 注意

配線は正しく行う

ショートや誤配線により、火災の原因になります。

接続例



故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
全く動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか? 接続されているか、確認してください。 ●電源表示灯が点灯していますか? 電源スイッチを入れてください。 ●電源スイッチは入っていますか? 電源スイッチを入れてください。 ●各音量調節つまみが絞られていませんか? 各音量を適当な音量に調節してください。 	40 9 12 9
有線マイクの音声が出てこない	<ul style="list-style-type: none"> ●マイクのトークスイッチは入っていますか? マイクのトークスイッチを入れてください。 ●マイクプラグは確実に差し込まれていますか? 確認してください。 ●マイクは正常ですか? 他のマイクと交換してください。 ●マイク音量調節つまみが「0」位置になっていませんか? 適当な音量に調節してください。 	— — — 9
スピーカーから音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカー接続コネクタは確実に接続されていますか? 確認してください。 ●スピーカー出力1/2音量調節つまみが「0」位置になっていませんか? 適当な音量に調節してください。 	37,38 9
音がわる	<ul style="list-style-type: none"> ●スピーカー出力1/2表示灯の赤色が常時点灯していませんか? 赤色が常時点灯しないように音量を調節してください。 	9
音質がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ●正しくイコライザーが使用されていますか? イコライザー調節つまみで調節してください。 	9,10
雑音ができる	<ul style="list-style-type: none"> ●本機やスピーカーコード、マイクコードなどがノイズを発生する機器の近くにありませんか? ノイズを発生する機器から遠ざけてください。 	—

その他

故障かな!? (つづき)

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
外部機器の音がでない、 または音が小さい	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続機器および本機の入力音量調節つまみが「0」位置になっていませんか? 適切な音量に調節してください。 ● 接続機器のレベルは合っていますか? ライン入力の説明をお読みください。 	9

カセットデッキ部

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
全く動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源が接続されていますか? 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ● 電源スイッチは入っていますか? 電源スイッチを入れてください。 	40 12
テープが走行しているのに、音がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 未録音のカセットテープがセットされていませんか? テープを確認してください。 ● テープ音量調節つまみが「0」位置になっていませんか? 適切な音量に調節してください。 	— 13
前回録音した音がときどきでる	<ul style="list-style-type: none"> ● 前回本機で録音した場合、消去ヘッドを清掃してください。その後、録音しなおしてください。 ● 前回本機で録音した場合、録音しなおしてください。 	18 —
音がかすれたり、ふるえたり、またきれいに録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ● キャプスタン、ピンチローラー、ヘッドが汚れていませんか? キャプスタン、ピンチローラー、ヘッドを清掃してください。 ● カセットテープが傷んでいませんか? 別のカセットテープと取り換えてみて問題なければ、新しいカセットテープと交換してください。 	18 —
録音ボタンを押しても、録音できない	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープの誤消去防止つめが折り取られていませんか? 誤消去防止つめが折り取られているときは、溝にセロハンテープを貼ってください。 	18
自動選曲ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 録音のしかたを誤ってはいませんか? 「一曲頭出し (自動選曲) の録音のしかた」をお読みください。 	17

CDプレーヤー部

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
全く動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が接続されていますか？ 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●ディスプレイが表示されていますか？ 電源スイッチを入れてください。 	40
演奏時間は進んでいるのに音声がでてこない	<ul style="list-style-type: none"> ●CD音量調節つまみが「0」位置になっていませんか？ 適当な音量に調節してください。 	20
CDが入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の中にCDが入っていませんか？ 停止／取出しボタンを押して、CDを取り出してください。 	20
CDがすぐ出てしまう	<ul style="list-style-type: none"> ●CDを裏表逆に入れていませんか？ CDのレーベル面を上にして入れてください。 ●シングルCD用アダプターを使用していませんか？ シングルCD用アダプターを取り外してから入れてください。 	21 —
CDがイジェクトできない	<ul style="list-style-type: none"> ●極端な電源変動による誤動作または機構の誤動作です。 お買い上げの販売店へご相談ください。 ドライバーなどで無理に取り出さないでください。 	—
音飛びする、ノイズなどが入る	<ul style="list-style-type: none"> ●CDが汚れていませんか？ CDを柔らかい布で拭いてください。 	28

故障かな!? (つづき)

ワイヤレスチューナーユニット部

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
全く動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が接続されていますか? 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●電源表示灯は点灯していますか? 電源スイッチを入れてください。 	40 9
ワイヤレスマイクの音声がでてこない	<ul style="list-style-type: none"> ●マイクのトークスイッチは入っていますか? マイクのトークスイッチを入れてください。 ●マイクの電池は入っていますか? 確認と同時に電池の消耗もチェックしてください。 ●マイクとワイヤレスチューナーユニットの周波数は同じですか? グループ/チャンネル番号を確認してください。 ●デッドポイントの位置ではありませんか? ワイヤレスチューナーユニットの受信表示灯を確認してください。 ●ワイヤレスチューナーユニットの音量調節つまみが絞られていませんか? 適当な音量に調節してください。 	— — 32 29 29

その他

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

症 状	原 因 ・ 対 策
電源コードの被ふくが傷んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。 そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。 直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。
使用中、電源コード・コネクター・電源プラグの一部が熱い	
使用中、電源コードを曲げたり伸ばしたりすると、暖かくなったり、ぬるくなったりする	

仕様

●本体部

電源	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力※	約125 W ※この表示は、電気用品安全法技術基準に基づくものです
定格出力	65 W×2
出力負荷インピーダンス	150 Ω×2 4 Ω (4 Ω～16 Ω スピーカー使用可能) ×2
録音出力	約-10 dBV 2.2 kΩ 不平衡
ライン出力	約0 dBV 10 kΩ不平衡
ひずみ率	5 % (1 kHz定格出力時)
周波数特性	50 Hz～18 kHz 偏差±3 dB(ライン入力 定格出力-10 dB時) 100 Hz～10 kHz 偏差±3 dB(有線マイク入力 定格出力-10 dB時)
音質特性	100 Hz/330 Hz/1 kHz/3.3 kHz/10 kHz 5ポイントイコライザー ±10 dB (LINE入力 各周波数ポイント基準)
入力感度およびインピーダンス	有線マイク1～3：約-60 dBV 600 Ω 電子バランス 音量調節器付 ライン：約-20 dBV 10 kΩ 不平衡 音量調節器付
信号対雑音比	65 dB以上
アンテナ入力	BNCコネクター×2 アンテナ感度切換スイッチ付 ファンタム電源 (9.3 V 35 mA、別売品WX-4980、WX-A8105専用)
動作表示	電源：LED (緑)、出力表示：LED (緑×4、赤×3) 2系統
付属機能	優先放送機能：有線マイク、ワイヤレス入力によりライン、カセット、 CD音量が減衰 (減衰音量調節器付) リミッタ機能：有線マイク、ワイヤレス入力において過大入力時のひずみを減衰
使用温度範囲	-10 °C ~+50 °C
外形寸法	幅304 mm 高さ432 mm 奥行き515 mm
質量	約17.5 kg
仕上げ	パネル：鋼板 マンセルN1近似色 ケース：アルミニウム製 銀色アルマイト仕上げ

●カセットデッキ部

適合テープ	カセットテープ (C-120以上を除く) ノーマルテープ
制御方式	フルロジックオートリバース方式
テープ速度	4.75 cm/ s (再生時±18 %可変)
ワウ・フラッター	0.25 %WRMS以下
トラック方式	2トラック 1チャンネル モノラル
ヘッド	録再1、消去1 (ロータリー式)
選曲	前後一曲
録音方式	オートレベル、交流バイアス方式
消去方式	交流消去方式
早巻き時間	約120秒 (C-60使用時)
回転部寿命	約1 000時間
付属機能	テープカウンター、一時停止、無録音オートスペース、走行モード選択
動作表示	録音時：赤、再生時：緑、一時停止：橙

●CDプレーヤー部

適合CD	コンパクトディスク 12 cm、8 cm
周波数特性	20 Hz～20 kHz (偏差±1 dB)
スピード可変範囲	±15 %
付属機能	シングルリピート、オールリピート、A-Bリピート、プログラム再生
表示	動作表示 (液晶)

仕様（つづき）

●ワイヤレスチューナーユニット部

電源	DC12 V（イベントアンプ本体より供給）
消費電力	100 mA（最大）
受信周波数	800 MHz帯（806.125～809.750 MHz、30波中1波）
受信方式	PLL制御スーパーヘテロダイン方式、スペースダイバシティー方式
局部発振方式	水晶制御PLL周波数シンセサイザー方式
スケルチ感度	18 dB μ V
トーンスケルチ周波数	32.768 kHz
定格出力	-30 dBV
ひずみ率	3 %以下
使用温度範囲	-10 °C～+50 °C
寸法	幅 84 mm 高さ 30 mm 奥行き 148 mm
質量	約200 g

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間
ただし、カセット部のヘッド、ピンチローラー、ベルト、モーター、CD部の光ピックアップは摩擦性の部品となりますので、部品代ならびに交換費用は保証期間中であっても有償とさせていただきます。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このイベントアンプの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

41ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

品名	イベントアンプ
品番	WA-420A
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

その他

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WA-420A
	販売店名	☎ () -				

松下電器産業株式会社

ブロードメディア本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410